

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
(ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ)本書のご提示がない場合
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	DVDプレーヤー			★お買い上げ日:	年	月	日
型番	DVD-718 DVD-718H	品番	06-3449 06-3450	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	ふりがな ★お名前 様						
	★ご住所 〒 -						
	電話 ()						
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	(印)						

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

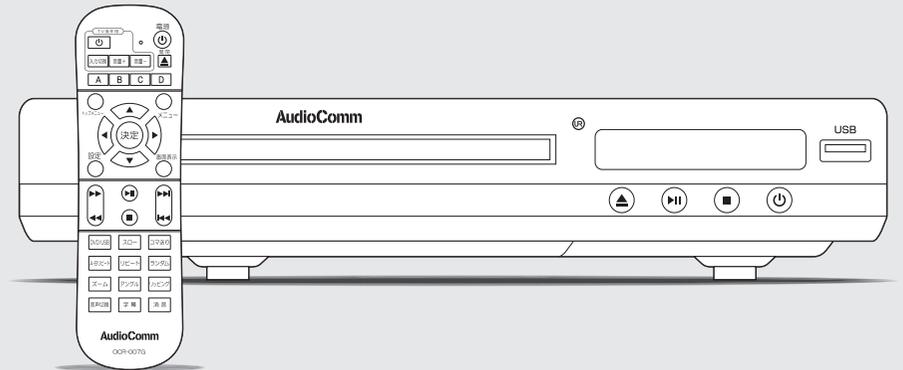
06-3449/3450A

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

DVDプレーヤー

型番: DVD-718 品番: 06-3449
DVD-718H 06-3450



このたびは、AudioComm® DVDプレーヤーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

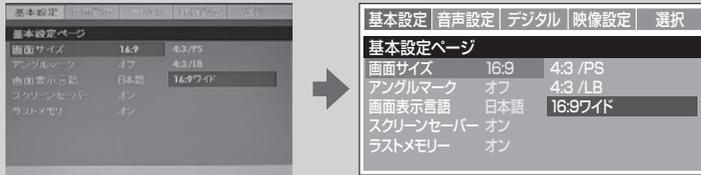
本製品及びこの取扱説明書をご利用いただくにあたって以下のことをご理解ください。

免責事項 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や破損、または改造による故障や不具合
- 取扱説明書(本書)を守らないことによって生じた破損、故障、その他の損害
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常
- 落下、衝撃、圧力、負荷などの外的要因や火災、地震、落雷、風水害などの自然災害、消耗・劣化による本製品の故障
- 関連装置との互換性や、記憶媒体・データの状況によって生じた本製品の利用機会の損失

本書で使用している画面表示の図版について

画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異っております。また、機種によって表示内容が一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。



実際の画面例

この取扱説明書での表示例

DVDの規格について

本取扱説明書はDVDの基本的な説明をしています。DVDは規格によって生産、販売されており、使いかたを間違えると操作に反応しないことがあります。使いかたを間違えないよう本書をよく読んでいただくことが重要です。再生中、操作ボタンを押すと、⊘のマークが表示されることがあります。そのようなとき、その操作は本機またはDVDディスクによって無効を意味しています。



無効マーク

- ボタンを押し、無効マークが出たら、その画面での操作は無効です。画面が変わってから再度操作してください。
- DVD以外のディスクでは操作に制限があります。

著作権について

放送やレコードその他の録画・録音物(DVD、ビデオ、ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録画・録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して、数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

磁気や電磁障害について

磁気の影響を避けるため、磁石や磁石を使用した機器を本製品に近づけないでください。また、電磁波の影響を避けるため、携帯電話や電磁波を発生する機器を本製品に近づけないでください。磁気や電磁障害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

ご注意

安全上のご注意 3~4

はじめに

付属品をご確認ください 5	ご使用になれるメディアについて 7~10
電源について 5	各部の名称 11~12
ご使用前の注意 5	ファイルリスト表示と選択操作について 13
リモコンの使いかた 6	学習機能 14

接続

テレビとの接続方法 15
オーディオ機器との接続方法 16

映像を観る

映像再生時の基本操作 17~19	ランダム 21
早送り 19	ズーム 21
早戻し 19	アングル 21
スキップ(▶▶/◀◀) 20	音声切替 21
スロー 20	字幕 22
コマ送り 20	トップメニュー 22
A-Bリピート 20	メニュー 22
リピート 20	画面表示 22

音楽/音声を聴く

音楽/音声再生時の基本操作 23~25	リピート 26
早送り 25	ランダム 27
早戻し 25	リッピング 27
スキップ(▶▶/◀◀) 26	音声切替 27
A-Bリピート 26	

画像を見る

画像再生時の基本操作 28~30
ズーム 30
リピート 30

設定

セットアップメニューの概要 31	シャープネス 37
画面サイズ 32	ブライトネス 37
アングルマーク 33	コントラスト 38
画面表示言語 33	HDMI 38
スクリーンセーバー 34	オーディオソース 39
ラストメモリー 34	テレビタイプ 39
スピーカー設定 35	音声設定 40
デュアルモノ 35	字幕言語 40
DRC 36	メニュー言語 41
HDMI 解像度 36	初期設定 41

リファレンス

故障かなと思ったら 42~43
用語解説 44
主な仕様 45
お手入れのしかた 45
よくあるご質問 46
保証書とアフターサービスについて 46
保証書 裏表紙

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	危険 この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は「感電注意」が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

警告

	コンセントから抜く 万一、煙が出ている、変なにおいや音が出るなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社修理ご相談センターに修理を依頼してください。		接続場所を選ぶ 電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。
	万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社修理ご相談センターにご連絡ください。		使用中を中止する 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社修理ご相談センターに修理をご依頼ください。
	本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。		禁止 海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器をえるのは日本国内のみです。 表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。 業務用途には使わない ●過負荷による故障の原因となり、火災や感電のおそれがあります。
	雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない ●感電の原因となります。		
	浴室や洗面所、雨天時や降雪時の屋外、海岸、水辺など、水がかかる場所や湿気のある場所で本機を使わない ●感電や故障の原因となります。		

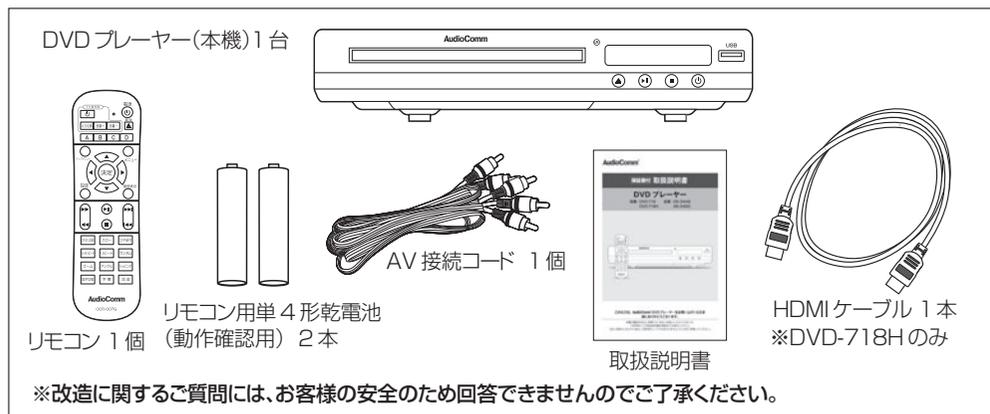
警告

	禁止 車の中で使わない。窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●本機は車載用ではありませんので、車の中では使用しないでください。また、自動車内に放置しないでください。車載で使用した場合、車特有のノイズを拾い、音声や画像が乱れます。窓を閉め切った自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故のおそれがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。市販されている電源コンバーターなどを使って本機を使用しないでください。		禁止 コードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。 子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところにおかない ●感電やケガの原因となることがあります。 本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。 本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。 本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない ●火災の原因となります。		

注意

	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。		禁止 電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	コンセントから抜く 旅行などで長期間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。リモコンの乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。		調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。
	使用中を中止する 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●差し込みが不完全な場合、感電の危険や加熱などにより火災の原因となります。		ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。
	清掃をする 電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまるると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。		ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
			ディスクトレイに手を入れない ●けがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
			電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。
			再生中は本機を絶対に動かさない ●メディアが傷ついたり破損したり、本機が故障するおそれがあります。

■ 付属品をご確認ください

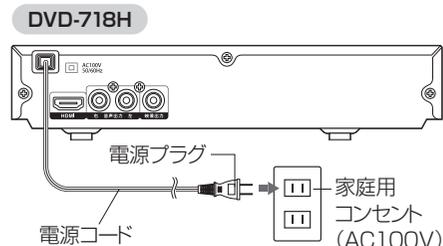
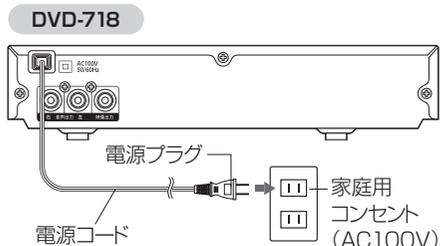


■ 電源について

必ず家庭用電源でご使用ください

- 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。
- 本機を長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。

警告 電源プラグを抜き差しするときは、必ず本体の電源を切ってから行ってください



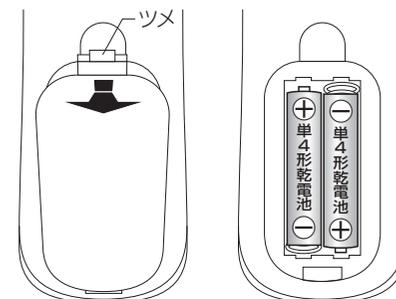
■ ご使用前の注意

- 本機にディスクをセットすると自動的に読み込みを開始し、画面にタイトルなどが表示されます。再生せずに静止画を表示し続けると、モニターが画像焼きを起こし、ダメージとなることがありますのでご注意ください。本機は、停止状態が約5分続くと、自動的にスクリーンセーバーモードになります(セットアップメニューの画面を除く)。
- テレビやモニターの電源オン/オフや音量の調整などは、接続機器側で行ってください。ただし、本機リモコンのTV操作学習ボタンや学習ボタン(A~D)にお使いのテレビやモニターのリモコン機能を学習させた場合は、本機のリモコンでそれらを操作できます。詳しくはP.14をご参照ください。
- DVDではチャプターとチャプターの間、CDでは曲と曲の間で、映像や音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- 本取扱説明書内の本機画面のイラスト(マークや文字、それらの表示位置、内容など)は、再生するディスクによって一部異なる場合があります。
- キズ、汚れ、ディスク作成時の状態などによって、ディスクが正しく読み込めない場合があります。

■ リモコンの使いかた

リモコンに電池を入れる

- 1 リモコン背面にある電池ぶたのツメを矢印の方向に押しながら引き上げ、電池ぶたを開けます。
- 2 付属の単4形乾電池×2本を極性(⊕⊖の向き)に注意しながら正しく入れます。コイルばねのあるほうが⊖(マイナス)です。⊖側から先に入れてください。
- 3 電池ぶたを元どおりにしっかりと閉めます。



乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- 火中への投入、加熱、分解をしない
- 取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ショートさせない
- 直射日光や火などの過度の熱にさらさない



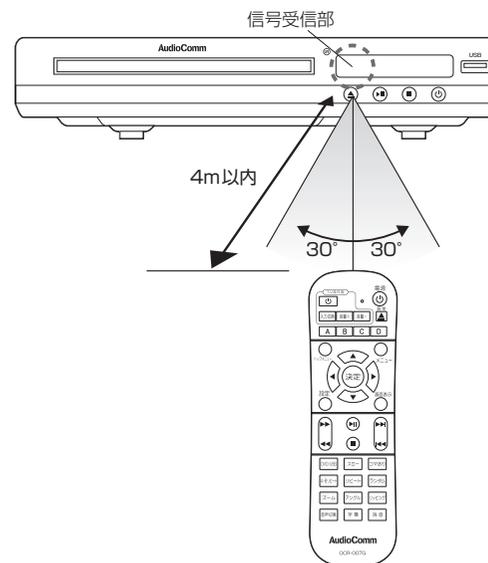
注意

- ⊕⊖の表示どおりに入れる
- 指定以外の乾電池を使わない
- 使用推奨期限内の乾電池を使う
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に使わない
- 使い切った乾電池はすぐに取り出す
- しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

リモコンによる操作

- ・リモコンの信号送信部を本機の信号受信部に向けて操作してください。
- ・使用範囲は、本機の信号受信部から上下左右30度以内、4m以内です(新品の乾電池の場合)。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなったり、使用範囲がさらに狭くなることがあります。
- ・直射日光が当たる場所での使用は避けてください。誤作動したり、操作できなくなることがあります。



ご注意

- リモコンは暖房器具付近、車のダッシュボードの上、座席の上、ヒーターの噴出し口付近など高温になる場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。変形、動作不良、故障の原因になります。
- ※他社製品を動作/作用させる可能性がありますのでご注意ください。

ご使用になれるメディアについて

DVDとCDについて

再生可能ディスク

本機で再生可能なディスクは以下の通りです。

ディスクタイプとマーク	記録内容	ディスクサイズ	ディスクフォーマット
DVD-Video, DVD±R/RW 	映像 + 音声 (主に映画)	12cm	ISO9660+JOLIET、 UDF、 UDFBridge
オーディオ CD (音楽用 CD) CD-R/RW 	音声 (音楽) WMA/MP3 画像 JPEG	12cm または 8cm (シングルCD)	※DVD-R/RW及び CD-R/RWの場合


このマークは、DVDビデオディスクの統一マークです。


このマークは音楽用CDの統一マークです。

- 本機で再生可能なディスクは、直径12cmのDVDと、直径8cmまたは12cmのオーディオCD、MP3またはJPEGデータを記録したCD-R/RWのみです。これらのディスク以外は再生できません。
- お客様が作成したディスクは、書き込みスピード、書き込みソフト、編集方法、メディアの質などにより、再生できない場合があります。
- 本機はDVDビデオフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。

【本機ではCPRM対応のDVD-R、DVD-RWディスクを再生することができます。】

読み込みの時間が約30秒かかります。

CPRMとは？

CPRMとは、コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。デジタル放送は著作権保護のためにコピー制限があります。例えば「ダビング10」の場合、録画した番組を他のデジタル機器に9回までコピー(ダビング)することが可能で、10回目はムーブ*(移動)のみ可能となります(すべての番組がダビング10で放送されているわけではありません)。

DVDにこうした番組を記録する場合は、CPRMに対応しているDVDレコーダー(HDD搭載モデルを含む)とCPRMに対応したDVDメディアを使うことで、初めてコピー制限のある放送をDVDメディアに録画することができます。

また、再生機器もCPRMに対応している必要があり、CPRM対応DVDメディアに記録した映像を他のDVDプレーヤーで再生する場合は、CPRM対応製品である必要があります。本機はCPRM対応製品です。

※他のデジタル機器やメディアにコピーすると、元映像が消去され、画像が移動したかのように見えるので、これを「ムーブ」と呼んでいます。

【コピー制限の著作権保護がかけられたデジタル放送は、VRモードでしかメディアに記録できません。】

ビデオモード、VRモードとは？

ビデオモード、VRモードとは、ともにDVDディスクの記録方式のことで、下図の違いがあります。DVDにおいてはCPRMへの対応はVRモードしか認められていないため、結果的にCPRMに対応しているDVDメディアは必ずVRモードにも対応していることになります。

ビデオモード	市販の映画ソフトなどの「DVDビデオ」に似た記録方式で、いろいろなDVD機器で再生することを目的としたモードです(互換性=高)。
VRモード	ビデオレコーディングモードの略で主にディスク内で編集するためのモードです。

DVD-R/DVD-RW VRモード 本書中で左の表示があった場合は、VRモードで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクを本機で再生するときにも使用できる機能を示しています。

リージョンコード(国番号)について

本機のリージョンコードは「2」です。この番号は日本を含めたヨーロッパ、南アフリカに割り当てられた番号で、DVDディスクの規格です。ディスクをお買い上げの際は、このリージョンコードを確認してください。「ALL」と「2」(または「2」を含むもの)が表示されたディスクの再生が可能です。

(例)  このマークはDVDビデオディスクまたはパッケージに印刷されています。

再生できないディスク

下記のディスクは再生できません。

- ・リージョンコードが「2」「ALL」以外のDVD
- ・DVD-ROM
- ・Video-CD
- ・DVD-Audio
- ・BD(ブルーレイディスク)
- ・CD-I
- ・CVD
- ・特殊形状のディスク(ハート形など)や汚れ、キズのあるディスク
- ・CD-ROM
- ・DVD-RAM
- ・PD
- ・HD DVD
- ・CD-G(CDグラフィクス)
- ・SACD(ハイブリッドディスク)※1

※1 通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができますが、スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することができません。
※AVCHDやAVCRECには対応しておりません。

その他の注意事項

- シングルCD用アダプターは使わないでください。故障の原因となります。
- 記録領域が少ないディスク(直径55mm以下)は再生できない場合があります。
- ファイナライズ済みのCD-R、CD-RWディスクの再生は可能ですが、書き込みスピード、書き込みソフト、メディアの質などにより読み込めないことがあります。必ずCD-DA規格で、そしてMP3、JPEGのいずれかのフォーマットで書き込んでください。
- ファイナライズ済みのDVD-R / DVD+R / DVD-RW / DVD+RWディスクの再生は、一般的な範囲で使用可能ですが、書き込みソフト、編集方法、メディアの質などにより、再生の確率が低下することがあります。必ずDVD VIDEO規格で書き込み、ファイナライズ処理を行ってください。
- DTS (Digital Theater Systems) でのみ録音されているディスクは再生できません。
- DOLBY Digital でのみ録音されているディスクは再生できません。
- 現在発売されている「コピーコントロール CD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証はいたしかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお、「コピーコントロール CD」の詳細については、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

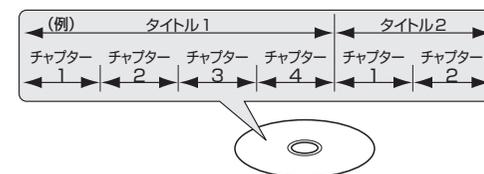


ディスクの構成について

DVD 

DVDビデオディスクは一般に「タイトル」と「チャプター」で構成されています。

- ・「タイトル」とは、例えば複数の映画を収録した内容のうち、各映画ごとの区切りを指します。
- ・「チャプター」とは、タイトルをさらに細かく分けたものです。



ご使用になれるメディアについて(つづき)

オーディオCD(音楽用CD)

オーディオCDは一般に「トラック」で区切られています。
 ・「トラック(ファイル)」とは、例えば複数の音楽が入っている場合、曲ごとの区切りを指します。



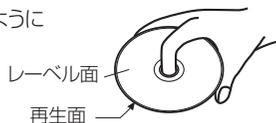
CD-R/CD-RW(JPEGファイル形式)

JPEGファイル形式のデータは「グループ(フォルダー)」と「トラック(ファイル)」に区切られて構成されています。
 ・「トラック(ファイル)」とは、例えば複数の写真を収めたCD内の、一枚一枚の写真を指します。
 ・「グループ(フォルダー)」とは、いくつかのトラック(ファイル)をまとめたものを指します。

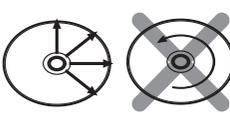


ディスク取扱い上の注意

●再生面に触れないように持ってください。



●ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。



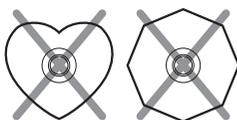
●再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



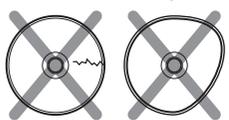
●長い時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。



●ひび割れや変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。



USBフラッシュメモリーについて

本機で使えるUSBフラッシュメモリーの仕様は、以下のとおりです。

ファイルシステム	メディア容量
FAT, FAT16, FAT32 対応(USB2.0 対応)	最大32GBまで

ご使用上の注意点

- 本機のUSBフラッシュメモリー端子はUSBフラッシュメモリー専用です。それ以外のUSB機器を接続すると、機器の故障やデータを消失失することがありますので、絶対に接続しないでください。
- USBフラッシュメモリーに記録するファイル容量は1ファイル当たり最大4GBまでです。
- データ消失を防ぐため、ご使用前にUSBフラッシュメモリー内のデータを他のメディアにバックアップしてください(弊社ではメディアの破損、データの消失などに関して一切の責任を負いません)。
- USBフラッシュメモリーを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切ったうえで行ってください。また、上下の向きを十分確認のうえ、まっすぐに差し込んでください。
- 抜き差し時に無理な力を加えると、本機の接続部やUSBフラッシュメモリー自体を破損するおそれがありますので十分ご注意ください。

ファイル形式や再生などに関する注意点

共通事項

- 多くの階層を持つメディアは再生が始まるまでに時間がかかります。読み込みを早くするには、以下を参考にしてください。
 - ・メディア内の階層は8階層までにする
 - ・メディア内のフォルダー数は64以下にする
- 日本語のファイル名は正しく表示されない場合があります。ファイル名には半角英数字を使用することをおすすめします(半角英数字10文字以内)。
- DVDではチャプターとチャプターの間、CDやUSBフラッシュメモリーでは曲と曲の間に、映像や音が途切れる場合がありますが故障ではありません。

映像ファイルについて

最大解像度	720(横)×480(高さ)ピクセル
ファイル形式	MPEG-1, MPEG-2, MPEG-4

- 上記のファイル形式であっても、ファイルによって再生できない場合があります。また、以下の場合も再生できないことがあります。
 - ・2つ以上のファイルを結合した映像ファイル
 - ・最大解像度を超える大きさの映像ファイル
 - ・4GB以上の映像ファイル
 - ・3時間以上の映像ファイル
- データCD上の高ビットレートの映像ファイルは滑らかに再生できない場合があります。データDVDの使用をおすすめします。
- 映像ファイルによっては、映像が乱れたり、音飛びがするなど、滑らかに再生できないことがあります。そのようなときは低いビットレートでファイルを作成することをおすすめします。それでも音声がかかる場合は音声形式が適切であるか確認してください(MPEG-4ビデオ形式の場合はAAC LC形式)。
- USB1.1/1.0のUSBフラッシュメモリーに記録された映像ファイルは正常に再生されない場合があります。DVD、またはUSB2.0のUSBフラッシュメモリーでのご利用をおすすめします。
- MPEG-4については、映像コーデックXvid 音声コーデックMP3 拡張子AVIで作成されたファイルで動作確認しております。
- MPEG-4 AVC / MP4 / RMVB / MKVなどの映像ファイルは再生できません。
- GMC(Global Motion Compensation)やQpel(Quarter pixel)で記録された映像ファイルの再生は保証していません。

MP3, WMAオーディオファイルについて

ファイル形式	.mp3, .wma
サンプリング周波数	20Hz~20kHz(WMA)
ビットレート	8~320kbps(WMA)

- コピープロテクト(DRM)のあるファイルは再生できない場合があります。
- WMA及びAACオーディオフォーマットは再生できない場合があります。

静止画像ファイルについて

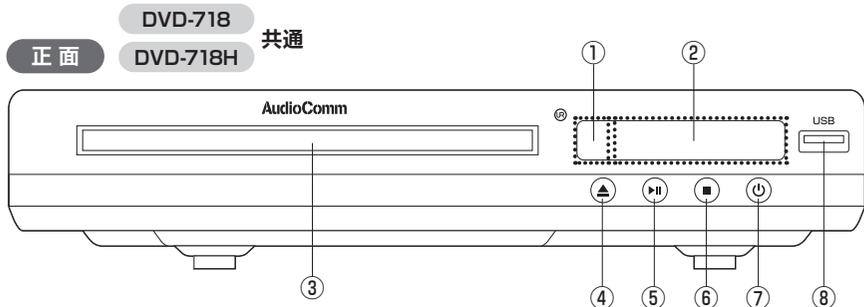
ファイル形式	.jpg, .jpeg
推奨サイズ	4000×3000×24ビット/ピクセル以下

- プログレッシブ、ロスレス圧縮した画像ファイルはサポートしていません。
- JPEG画像ファイルによっては、再生できない場合があります。

各部の名称

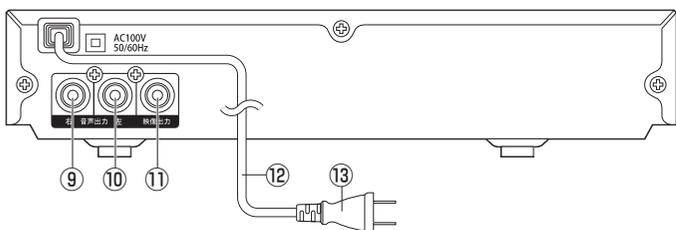
はじめに

はじめに

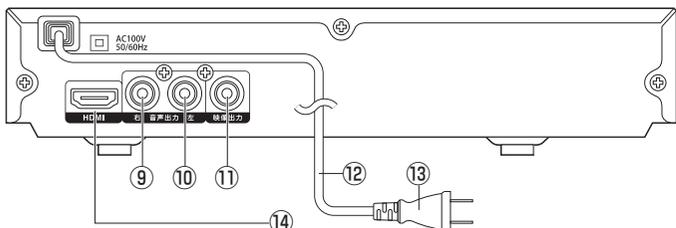


背面

DVD-718

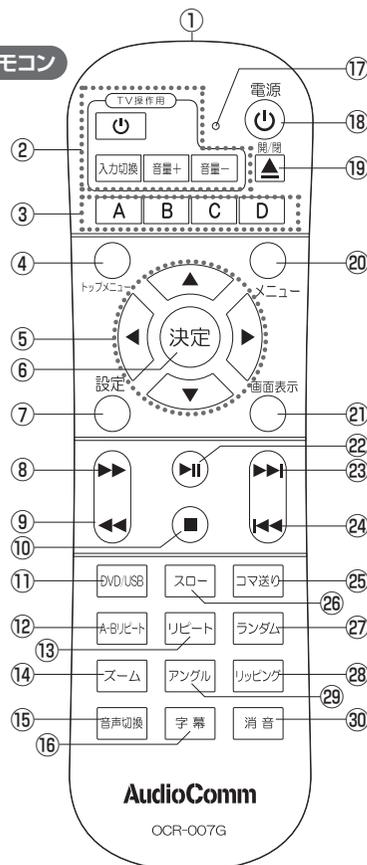


DVD-718H



- ① 信号受信部
- ② ディスプレイ
- ③ ディスクトレイ
- ④ ディスクトレイ開/閉ボタン
- ⑤ 再生/一時停止ボタン
- ⑥ 停止ボタン
- ⑦ 電源ボタン
- ⑧ USB フラッシュメモリー端子
- ⑨ 音声出力端子 (右)
- ⑩ 音声出力端子 (左)
- ⑪ 映像出力端子
- ⑫ 電源コード
- ⑬ 電源プラグ
- ⑭ HDMI 端子 (DVD-718H のみ)

リモコン



- ① 信号受信部
この部分を本機の信号受信部に向けて操作してください。
- ② TV 操作学習ボタン
テレビに付属するリモコンの動作を記憶させることで、テレビ本体の操作ができます。
- ③ 学習ボタン(A~D)
電化製品に付属するリモコンの動作を学習させることで、各種電化製品の操作ができます。
- ④ トップメニューボタン
ディスクに収録されているトップメニューを表示します(対応ディスクのみ)。
- ⑤ カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)
画面に表示されている項目を選択する場合など、カーソルを移動させるときに使用します。
- ⑥ 決定ボタン
選択を確定します。
- ⑦ 設定ボタン
セットアップメニューを表示します。
- ⑧ 早送りボタン
早送りをします。

- ⑨ 早戻しボタン
早戻しをします。
- ⑩ 停止ボタン
再生を停止します。
- ⑪ DVD / USB ボタン
メディアを切り換えます。
- ⑫ A-Bリピートボタン
任意の2点間を繰り返し再生します。
- ⑬ リピートボタン
リピートモードを設定します。
- ⑭ ズームボタン
映像や画像を拡大・縮小表示します。
- ⑮ 音声切換ボタン
ディスクに収録されている音声を切り換えます。
- ⑯ 字幕ボタン
ディスクに収録されている字幕表示を切り換えます。
- ⑰ 操作ランプ
ボタン操作に応じて光ります。
- ⑱ 電源ボタン
本機の電源を入/切します。
- ⑲ ディスクトレイ開/閉ボタン
ディスクトレイを開閉します。
- ⑳ メニューボタン
ディスクに収録されているタイトルメニューを表示します(対応ディスクのみ)。
- ㉑ 画面表示ボタン
再生しているディスクの情報を表示します。表示内容はディスクにより異なります。
- ㉒ 再生/一時停止ボタン
再生を開始します。再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生を再開します。
- ㉓ スキップボタン(▶▶)
再生中または一時停止中に押すと、次のチャプター(トラック)に移動して再生を始めます。
- ㉔ スキップボタン(◀◀)
再生中または一時停止中に押すと、一つ前のチャプター(トラック)に戻って再生を始めます。
- ㉕ コマ送りボタン
コマ送りをします。
- ㉖ スローボタン
スロー再生をします。
- ㉗ ランダムボタン
ランダムに再生します。
- ㉘ リッピングボタン
CD内の音楽ファイルや画像ファイルをUSBフラッシュメモリーにコピーします。
- ㉙ アンクルボタン
アンクルを切り換えます(対応ディスクのみ)。
- ㉚ 消音ボタン
音声を消します。もう一度押すと元に戻ります。

ディスプレイの表示 ※ディスプレイは電源が入っていないときは見えません。



ご注意

再生時の経過時間は「59 : 59」まで表示され、1時間を超えると「00 : 00」に戻ってカウントされます。1時間を超える「時」は表示されません。

■ ファイルリスト表示と選択操作について

DVD-R/RWやCD-R/RW、USBフラッシュメモリーを挿入したときには、下図のように表示されます。リモコンのカーソルボタン(▲/▼/◀/▶)や再生/一時停止ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。

※メディアの種類や収録しているファイルタイプ、動作状況などによって表示は異なります。

フォルダーを表示しているとき

- ① フォルダー番号/総フォルダー数
- ② 選択中のフォルダー名(ルートフォルダー: □\は最上位階層であることを示しています)
- ③ フォルダーリスト(実際にはフォルダー名が表示されます)
- ④ カーソル
- ⑤ メディアタイプ(DISCまたはUSB)

フォルダー内のファイルリストを表示しているとき(ファイルリスト表示)

- ① 経過時間
- ② ファイルの収録時間
- ③ ビットレート(音楽ファイル時のみ)
- ④ 動作状況
- ⑤ 再生中のファイル番号/フォルダー内の総ファイル数
- ⑥ フォルダー名
- ⑦ サブフォルダーマーク(複数のフォルダーがあるときのみ)
- ⑧ 動画アイコン・ファイル名
- ⑨ 音楽アイコン・ファイル名
- ⑩ 画像アイコン・ファイル名
- ⑪ モード表示、画像の場合は解像度表示
- ⑫ イルミネーション(音楽再生中のみ)
- ⑬ サムネイル(画像選択時のみ)
- ⑭ カーソル
- ⑮ メディアタイプ(DISCまたはUSB)

リモコンでの操作方法

	リスト内の上のフォルダーやファイルにカーソルを移動		リスト内の下のフォルダーやファイルにカーソルを移動
	ファイル選択時(停止時): 上位のフォルダー階層に戻る 音楽ファイル再生中: 再生を続けながら上位のフォルダーを表示		フォルダー選択時: フォルダーの中身を表示 サブフォルダーマーク選択時: 一つ上のフォルダー階層に移動
	フォルダー選択時: フォルダーの中身を表示 サブフォルダーマーク選択時: 一つ上のフォルダー階層に移動 ファイル選択時:再生を開始		フォルダー選択時: フォルダーの中身を表示 サブフォルダーマーク選択時: 一つ上のフォルダー階層に移動 ファイル選択時:再生を開始

- ご注意**
- 各ボタン操作の機能は、フォルダーやファイルの構成によって異なります。また、ボタン操作後、次の画面を表示するまでに時間がかかる場合があります。
 - 実際の表示では、ファイルの種類ごとに分けられず、ランダムに表示される場合があります。
 - 多くのファイルが存在する場合、カーソルボタン(▼)によってカーソルを最下段に移動させ、さらにカーソルボタン(▼)を押すことで、次のファイルリストを表示することができます。

■ 学習機能

本機リモコンのTV操作用学習ボタン及び学習ボタン(A~D)に、お使いのテレビや電気製品のリモコンボタンを記憶させ、操作することができます。

※TV操作用学習ボタン及び学習ボタン(A~D)には、工場出荷時に以下のリモコン信号が設定されていますが、再設定することにより、任意のリモコン機能を割り当てることができます。ただし学習可能なのは、赤外線式リモコンに限ります。

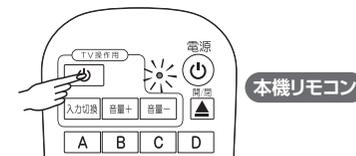
工場出荷時の初期設定

TV操作用学習ボタン	SHARP社製テレビの操作設定(電源、入力切替、音量+、音量-)	CH1
学習ボタンA	オーム電機製LEDシーリングライト用 電源	
学習ボタンB	オーム電機製LEDシーリングライト用 消灯	
学習ボタンC	オーム電機製LEDシーリングライト用 常夜灯	
学習ボタンD	オーム電機製LEDシーリングライト用 30分タイマー	

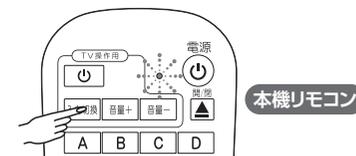
再設定のしかた

手元に本機リモコンと学習させたいリモコン(学習元リモコン)を用意して、以下の手順で設定してください。

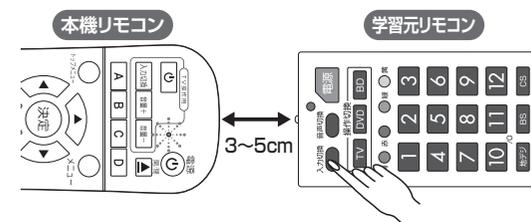
- 1 本機リモコンのTV操作用電源ボタンを約5秒間長押しします。操作ランプが点灯します。



- 2 本機リモコンの設定したい学習ボタンを押します。操作ランプが点滅し、学習モードに入ります。



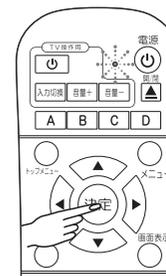
- 3 本機リモコンと学習元リモコンを向かい合わせて3~5cmの距離に置き、記憶させたい学習元リモコンのボタンを押します。



正しく学習すると:
操作ランプが3回点滅後、点灯します。
学習が失敗すると:
操作ランプが5回点滅後、点灯します。

- 4 上記の②~③の手順を繰り返して、各ボタンに任意の機能を学習させます。

- 5 最後に本機リモコンの決定ボタンを押します。正しく機器が操作できるか、確認してください。



テレビとの接続方法

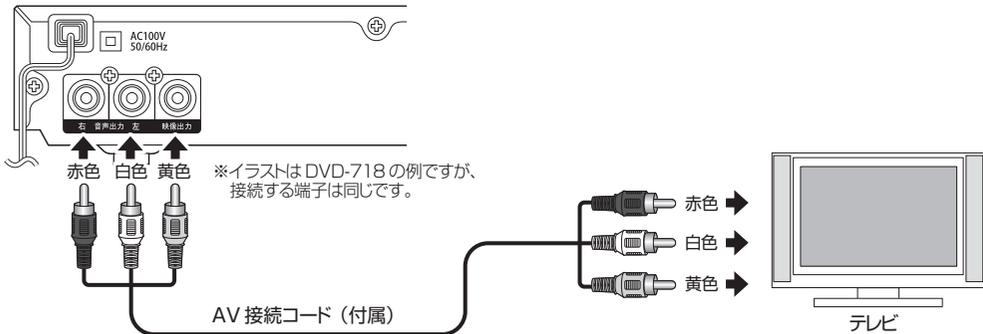
- ご注意**
- 接続するときは、必ずそれぞれの機器の電源を切ってください。
 - 接続する外部機器の電源は別途配線してください。
 - 使用するときは、必ず外部機器の電源を先に入れてください。
 - 接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく接続してください。

AV 接続コード(付属)で接続する場合

DVD-718 共通
DVD-718H

付属のAV 接続コードを使って、本機背面の音声出力端子(右/左)及び映像出力端子と、テレビ側のビデオ入力端子を接続します。

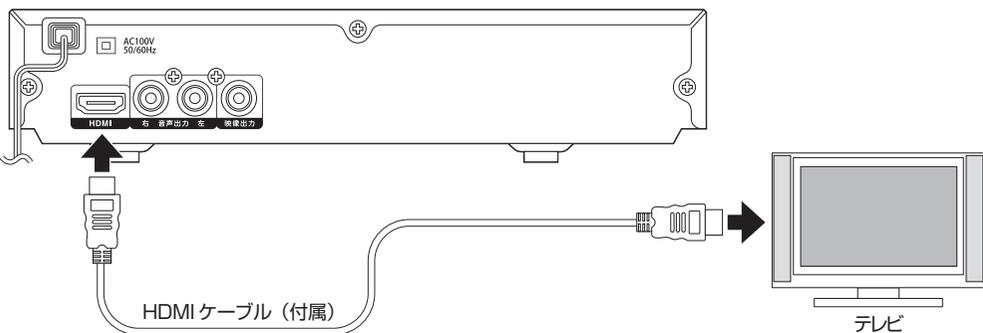
- ①白色のプラグを、本機、テレビ双方の音声端子(左用:白色の端子)に接続します。
- ②赤色のプラグを、本機、テレビ双方の音声端子(右用:赤色の端子)に接続します。
- ③黄色のプラグを、本機、テレビ双方の映像用端子(黄色の端子)に接続します。



HDMI ケーブル(付属)で接続する場合

DVD-718H のみ

HDMI ケーブル(付属)を使って、本機背面のHDMI 出力端子とテレビ側のHDMI 入力端子を接続します。



ヒント

ワイドテレビに接続した場合は、セットアップメニューの基本設定にある「画面サイズ」で、「16:9 ワイド」に設定してください。

オーディオ機器との接続方法

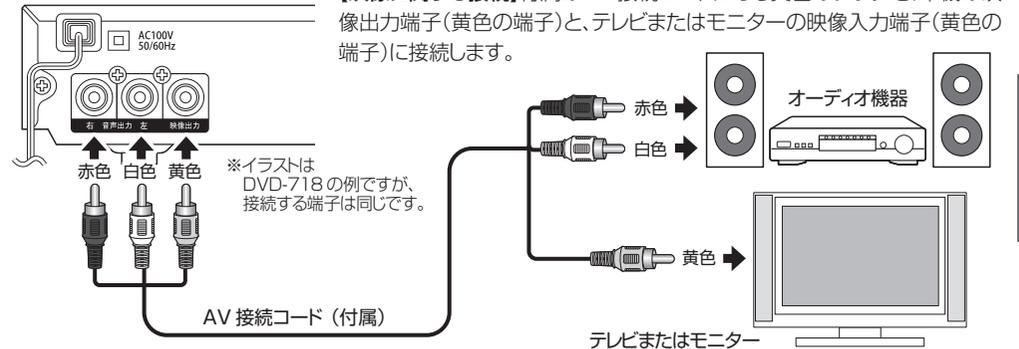
映像をテレビ(モニター)で映し、音声をオーディオ機器で聴く場合

DVD-718 共通
DVD-718H

【音声に関する接続】付属のAV 接続コードを使って、本機背面の音声出力端子(右/左)とオーディオ機器の音声入力端子を接続します。

- ①白色のプラグを、本機、オーディオ機器双方の音声端子(左用:白色の端子)に接続します。
- ②赤色のプラグを、本機、オーディオ機器双方の音声端子(右用:赤色の端子)に接続します。

【映像に関する接続】付属のAV 接続コードにある黄色のプラグを、本機の映像出力端子(黄色の端子)と、テレビまたはモニターの映像入力端子(黄色の端子)に接続します。

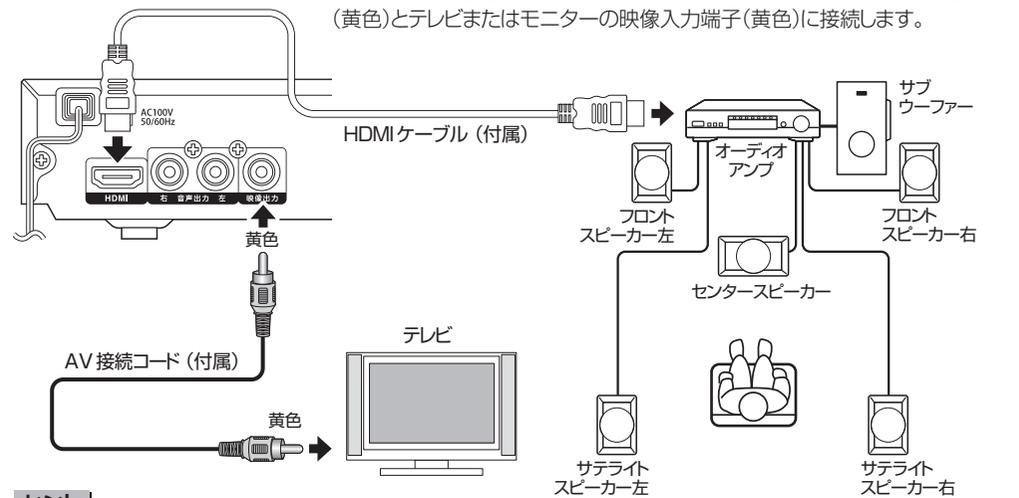


映像をテレビ(モニター)で映し、音声をドルビーデジタルシステム(5.1ch)対応機器で聴く場合

DVD-718H のみ

【音声に関する接続】HDMI ケーブル(付属)を使って、本機背面のHDMI 出力端子と、ドルビーデジタルシステム(5.1ch)対応オーディオ機器のHDMI 入力端子を接続します。

【映像に関する接続】AV 接続コード(黄色のプラグ)を、本機の映像出力端子(黄色)とテレビまたはモニターの映像入力端子(黄色)に接続します。



ヒント

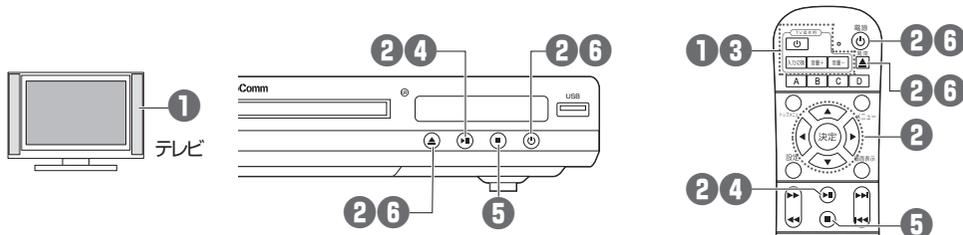
5.1chとは、視聴者を囲むように設置された6つのスピーカーによって、音を再生する音響システム構成のことです。前方正面、前方左右、後方左右のスピーカー、そして低音を強化するサブウーファーという6本のスピーカーで構成され、音の立体感が増し、臨場感にあふれた音響効果を楽しむことができます。このサブウーファーは低音のみを再生するため0.1チャンネルとカウントされ、合計で5.1チャンネルとなります。

DVDやUSBフラッシュメモリーに記録された映画・音楽映像・映像記録などを再生できます。

- 再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP.7～10をご確認ください。
- 規格以外の特殊なディスクは、再生できませんのでご注意ください。
- DTS(Digital Theater Systems)でのみ録音されているディスクは、再生できません。
- P.5～6、P.15～16を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続(家庭用コンセントへの接続を含む)を正しく行なってから以下の操作をしてください。

リモコンの学習機能について

本機に付属するリモコンで、テレビの電源の入/切、入力切替、音量の調節などをする場合は、あらかじめ各機能をそれぞれのボタンに記憶させる必要があります。P.14を参照し、設定してからお使いください。



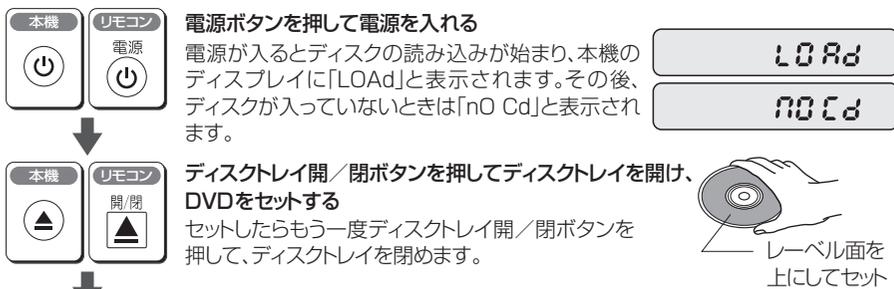
1 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力ソースに切り換える

複数の入力端子を持つテレビやモニターに接続した場合は、それに応じた入力ソースを設定してください。



2 本機にメディアをセットする

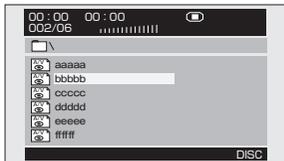
DVDの場合



ディスプレイに「LOAD」と表示され、読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

ヒント

ご自身で編集したDVD-R / RWをセットした場合は、右のようなファイルリスト画面が表示されますので、カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)で、再生したいファイルを選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押して再生を開始してください。



USBフラッシュメモリーの場合

電源が切れている状態で
前面のUSBフラッシュメモリー端子に
USBフラッシュメモリーを差し込む

電源ボタンを押して電源を入れる

- DVDが入っていないときは、テレビ(モニター)の画面に「ディスクを入れて下さい」と表示されますが、そのまましばらくすると、「切換中」の表示に続いてUSBフラッシュメモリーの読み込みが始まります。
- リモコンのDVD / USBボタンでも、再生したいメディアを切り換えることができます。

カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)で、再生したいファイルを選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押す=再生開始
フォルダーやファイルの表示例や操作方法は、P.13を参照してください。

3 音量を調節する

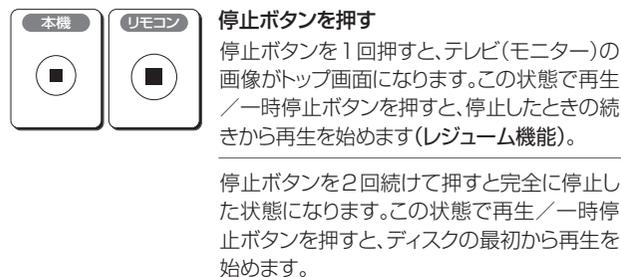
音量の上げすぎにご注意ください。



4 再生中に一時停止するには



5 再生を停止するには



ご注意 音楽/映像ファイルを収録したDVD-R/RWやUSBフラッシュメモリーの場合は、停止ボタンを押すと完全停止となり、ファイルリスト画面になります(レジューム機能はありません)。

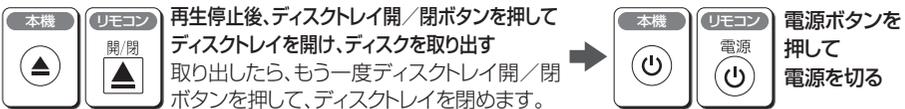
映像再生時の基本操作(つづき)

DVD-R/DVD-RW
VRモード

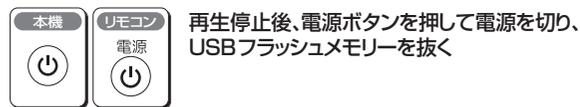
6

終了するとき

DVDの場合



USBフラッシュメモリーの場合



ヒントとご注意

- メディアによっては、最初にメニュー画面が表示されることがあります。その場合はお好みの内容をカーソルボタン(▲/▼/◀/▶)で選択し、再生/一時停止ボタンまたは決定ボタンを押して再生を開始してください。
- DVDの2層ディスクを再生中に、映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので故障ではありません。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。
- ディスクに汚れやキズがあると、画像が歪んで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 再生プログラムが備わっているDVDの場合は、最初のタイトルから再生が始まらない場合があります。
- 本機での再生に適していないメディアを挿入した場合は再生されません。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
- 長期間使わないときは、電源を切った後、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。

早送り

DVD-R/DVD-RW
VRモード

再生中に早送りボタンを押すと、早送りができます(早送り中は音声は出ません)。
●ボタンを押すごとにスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度押すと通常の再生に戻ります。
●早送り中に通常の再生に戻るには、再生/一時停止ボタンを押します。
●タイトルをまたぐ早送りはできません。

早戻し

DVD-R/DVD-RW
VRモード

再生中に早戻しボタンを押すと、早戻しができます(早戻し中は音声は出ません)。
●ボタンを押すごとにスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度押すと通常の再生に戻ります。
●早戻し中に通常の再生に戻るには、再生/一時停止ボタンを押します。
●タイトルをまたぐ早送りはできません。

スキップ(▶▶/◀◀)

DVD-R/DVD-RW
VRモード

スキップ(▶▶)



再生中または一時停止中にスキップボタン(▶▶)を押すと、次のチャプターに進んで再生します。

スキップ(◀◀)



再生中または一時停止中にスキップボタン(◀◀)を押すと、前のチャプターに進んで再生します。

スロー

再生中にスローボタンを押すと、スロー再生になります(スロー再生中は音声は出ません)。
●ボタンを押すごとに再生スピードが1/2、1/4、1/8、1/16となり、さらにもう一度スローボタンを押すと通常の再生に戻ります。
●スロー再生の途中で通常の再生に戻るには、再生/一時停止ボタンを押します。
●タイトルをまたぐスロー再生はできません。

コマ送り

DVD-R/DVD-RW
VRモード

再生中にコマ送りボタンを押すと、映像がコマ送りになります(コマ送り中は音声は出ません)。
●コマ送りボタンを押すたびに、少しずつ映像が送られます。
●コマ送りを終了して通常の再生に戻るには、再生/一時停止ボタンを押します。

A-Bリピート

DVD-R/DVD-RW
VRモード

リピート

DVD-R/DVD-RW
VRモード

映像を観る

ランダム

リモコン

ランダム

再生中にランダムボタンを押すと、チャプター単位でランダムに再生されます。

- ランダム再生を終了して通常の再生に戻るには、もう一度ランダムボタンを押します。



ズーム

リモコン

ズーム

再生中または一時停止時にズームボタンを押すと、映像を拡大したり、縮小したりすることができます。

- ズームボタンによる映像の拡大や縮小は常に画面の中心に対して行なわれます。
- 拡大時にはカーソルボタン(▲/▼/◀/▶)で拡大部分を移動させることができます。
- ディスクにより機能しない場合があります。



DVD-R/DVD-RW
VRモード

アングル

リモコン

アングル

複数のカメラアングルでの映像が収録されているディスクの場合、アングルボタンを押すことで、別アングルからの映像を楽しむことができます。

アングルマークが表示されている間のみ、この機能は有効です。



- この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されているアングル数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています(アングル数が2の場合：②)。
- アングルボタンを押したときに、無効マーク(⊙)が表示された場合は、カメラアングルを変更することはできません。
- アングルマークが反応しないときは、セットアップメニューの「基本設定」>「アングルマーク」がオンになっているか確認してください。
- アングルマーク表示は約5秒後に消えます。
- ディスクによっては、アングルマークが表示されていても切り換えができなかったり、別アングル映像の収録が部分的で限定されている場合があります。

音声切換

リモコン

音声切換

ディスクに複数の音声言語が収録されている場合、再生中に音声切換ボタンを押すとお好みの音声言語に切り換えることができます。

- この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されている音声言語数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています。(音声言語数が2の場合：②)
- ディスクにより機能しない場合があります。
- 音声切換ボタンを押しても希望する言語が表示されない場合は、言語がディスクに含まれていません。
- 電源を切ると、セットアップメニューの「選択」>「音声設定」で選択されている言語に戻ります。
- 二重音声を含んだDVD-R / DVD-RW(VRモード)の場合は主音声と副音声切り換わります。

選択中の言語 / 含まれている音声言語数
音声種別(下記は5.1chの例)
音声 1/3 : AC3 5.1ch 英語
言語(上記は英語の場合)



字幕

リモコン

字幕

ディスクに収録された字幕を表示・選択することができます。

- 再生中に字幕ボタンを押すたびに、字幕の内容が切り換わります。
- 字幕を消すには、字幕ボタンを数回押して「字幕オフ」にします。
- この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されている音声言語数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています(音声言語数が2の場合：②)。
- ディスクにより機能しない場合があります。
- 音声切換ボタンを押しても希望する言語が表示されない場合は、言語がディスクに含まれていません。
- 電源を切ると、セットアップメニューの「選択」>「音声設定」で選択されている言語に戻ります。
- 二重音声を含んだDVD-R / DVD-RW(VRモード)の場合は主音声と副音声切り換わります。

選択中の字幕 / 含まれている字幕数
字幕 01 / 02 : 日本語
選択中の字幕言語



トップメニュー

リモコン

トップメニュー

再生中または停止中にトップメニューボタンを押すと、ディスク内のトップメニューを表示します。

- 表示されたトップメニューを見ながら、カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)でお好みのメニューを選び、決定ボタンを押すと選択が確定します。

リモコン

メニュー

再生中または停止中にメニューボタンを押すと、ディスク内のタイトルメニューを表示します。

- 表示されたタイトルメニューを見ながら、カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)でお好みのメニューを選び、決定ボタンを押すと選択が確定します。

- トップメニューボタン及びメニューボタンは、トップメニュー及びタイトルメニューが収録されているディスクのみ有効です(メニューの名称や内容はディスクにより異なります)。
- ディスクによっては、機能しないものもあります。
- ディスクによってはさらに次の階層へとメニューが展開しているものもあります。

画面表示

DVD-R/DVD-RW
VRモード

リモコン

画面表示

再生中または一時停止中に画面表示ボタンを押すと、そのDVDに関する様々な情報を表示することができます。押すたびに表示内容が変わります。



タイトル経過時間 — この部分は数秒後に消えます
TT: 01/02 CH: 01/17 再生中のタイトルの再生時間を表示
0:01:15

タイトル残り時間
TT: 01/02 CH: 01/17 再生中のタイトルの残り時間を表示
1:44:23

チャプター経過時間
TT: 01/02 CH: 01/17 再生中のチャプターの再生時間を表示
0:01:15

チャプター残り時間
TT: 01/02 CH: 01/17 再生中のチャプターの残り時間を表示
0:07:12

さらにもう1回押すと「表示オフ」になり、数秒後に消えます。

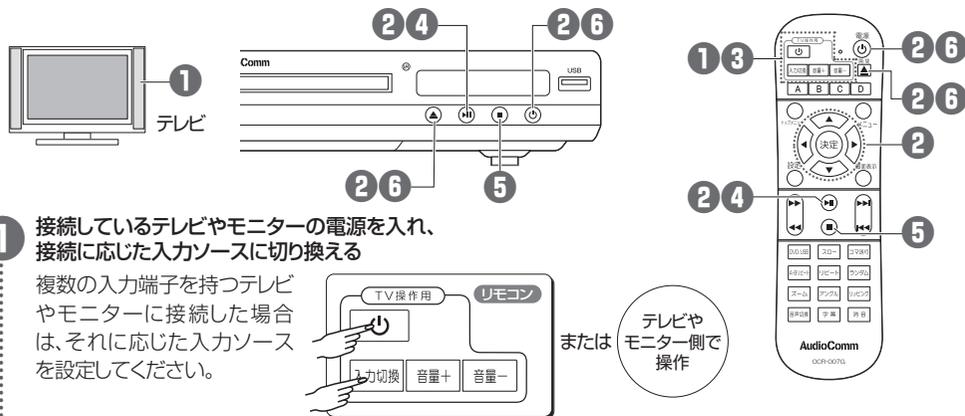
音楽 / 音声再生時の基本操作

オーディオCDやCD-R/RW、USBフラッシュメモリーに記録された音楽や音声などを再生できます。

- 再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP.7～10をご確認ください。
※対応する形式であっても、すべてのファイルの動作を保証するものではありません。
- 規格以外の特殊なディスクは、再生できませんのでご注意ください。
- P.5～6、P.15～16を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続(家庭用コンセントへの接続を含む)を正しく行なってから以下の操作をしてください。

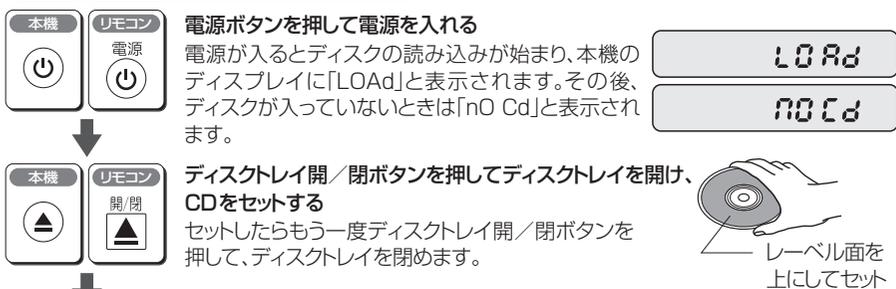
リモコンの学習機能について

本機に付属するリモコンで、テレビの電源の入/切、入力切換、音量の調節などをする場合は、あらかじめ各機能をそれぞれのボタンに記憶させる必要があります。P.14を参照し、設定してからお使いください。



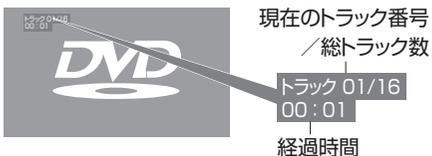
2 本機にメディアをセットする

CDの場合



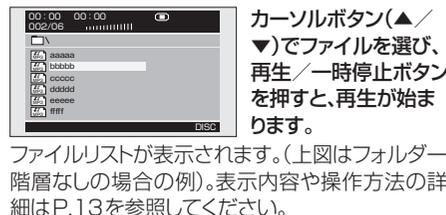
オーディオCD

読み込み完了後、自動で再生が始まります。

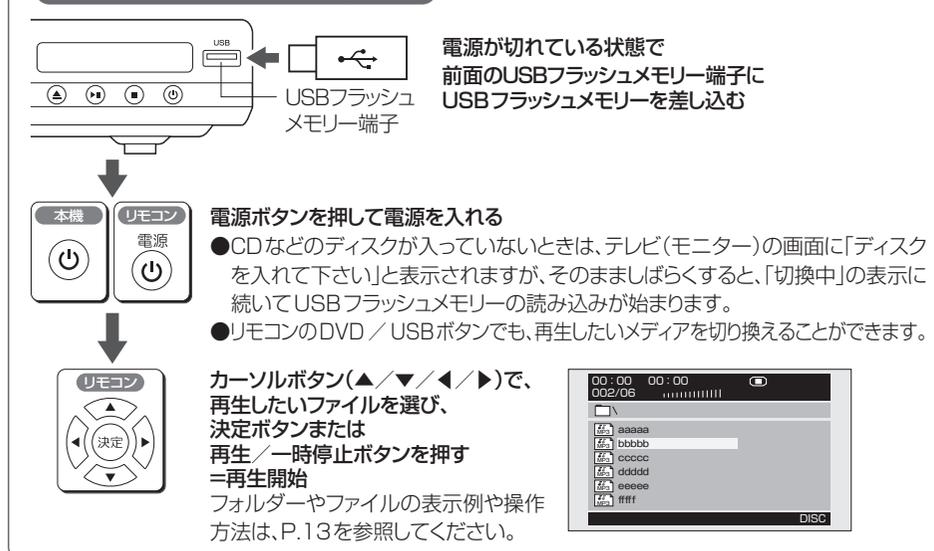


CD-R/RW

自動では再生が始まりません。



USBフラッシュメモリーの場合



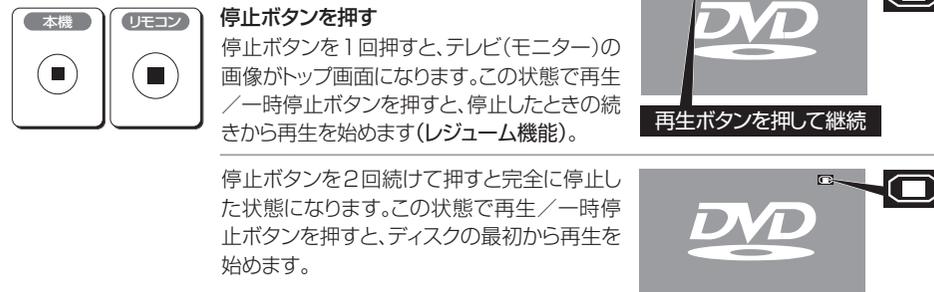
3 音量を調節する



4 再生中に一時停止するには



5 再生を停止するには



ご注意 CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーの場合は、停止ボタンを押すと完全停止となり、ファイルリスト画面になります(レジューム機能はありません)。

音楽 / 音声再生時の基本操作(つづき)

6

終了するときは

CDの場合

リモコン 開/閉 ボタンを押して ディスクトレイを開け、ディスクを取り出す
取り出したら、もう一度ディスクトレイ開/閉 ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。

リモコン 電源 ボタンを押して 電源を切る

USBフラッシュメモリーの場合

リモコン 電源 ボタンを押して電源を切った後、USBフラッシュメモリーを抜く

ヒントとご注意

- ディスクに汚れやキズがあると、音が飛んだり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 本機での再生に適していないメディアを挿入した場合は再生されません。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
- 長期間使わないときは、電源を切った後、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。

早送り

- リモコン 早送り ボタンを押すと、早送りができます(早送り中は音声は出ません)。
- ボタンを押すごとにスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度押すと通常の再生に戻ります。
 - 早送り中に通常の再生に戻るには、再生/一時停止ボタンを押します。
 - トラック(ファイル)をまたぐ早送りはできません。

オーディオ CD CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

トラック 02/10 00:21

01:53 04:52 192kbps

aaaaa
bbbbb
ccccc
ddddd
eeeee
ffffff

2X 4X 8X 16X 32X

通常の再生に戻る

早戻し

- リモコン 早戻し ボタンを押すと、早戻りができます(早戻し中は音声は出ません)。
- ボタンを押すごとにスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度押すと通常の再生に戻ります。
 - 早戻し中に通常の再生に戻るには、再生/一時停止ボタンを押します。
 - トラック(ファイル)をまたぐ早送りはできません。

オーディオ CD CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

トラック 02/10 00:21

01:53 04:52 192kbps

aaaaa
bbbbb
ccccc
ddddd
eeeee
ffffff

2X 4X 8X 16X 32X

通常の再生に戻る

スキップ(▶▶ / ◀◀)

スキップ(▶▶)

リモコン 再生中または一時停止中にスキップボタン(▶▶)を押すと、次のトラック(ファイル)に進んで再生します。

オーディオ CD CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

トラック 02/10 00:21

01:53 04:52 192kbps

aaaaa
bbbbb
ccccc
ddddd
eeeee
ffffff

この表示のあと次のトラックを再生

スキップ(◀◀)

リモコン 再生中または一時停止中にスキップボタン(◀◀)を押すと、前のトラック(ファイル)に進んで再生します。

オーディオ CD CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

トラック 02/10 00:21

00:53 02:36 192kbps

aaaaa
bbbbb
ccccc
ddddd
eeeee
ffffff

この表示のあと前のトラックを再生

A-Bリピート

- リモコン A-Bリピート ボタンを押すと、再生中にA-Bボタンを押すと、任意の2点間を指定して、繰り返し再生することができます。
- A-Bリピートを中止するには、A-Bリピート中にもう一度A-Bボタンを押します(A-Bリピートマークが消え、通常の再生に戻ります)。

1 A-Bリピートの開始点でA-Bボタンを押す

オーディオ CD CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

トラック 00:21

01:53 04:52 192kbps

aaaaa
bbbbb
ccccc
ddddd
eeeee
ffffff

2 終了したいところで、もう一度A-Bボタンを押す

オーディオ CD CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

トラック 00:21

01:53 04:52 192kbps

aaaaa
bbbbb
ccccc
ddddd
eeeee
ffffff

リピート

- リモコン リピート ボタンを押すと、再生中または停止中にリピートボタンを押すと、トラック(ファイル)を繰り返し再生することができます。リピートボタンを押すたびに、モードが変わります。

オーディオ CD CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

トラック 00:21

00:00 00:00 00:00

aaaaa
bbbbb
ccccc
ddddd
eeeee
ffffff

トラック 再生中のトラックを繰り返し再生

オール ディスク全体を繰り返し再生

リピート解除(通常の再生モード)

シングル再生 再生中のトラックを1回だけ再生

シングルリピート 再生中のトラックを繰り返し再生

フォルダーリピート フォルダー内の全トラックを繰り返し再生

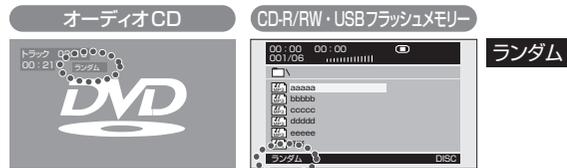
フォルダー再生 フォルダー内の全トラックを1回だけ再生

ランダム



再生中または停止中にランダムボタンを押すと、ディスク内のトラックをランダムに再生します。

- ランダムボタンをもう一度押すと、ランダム再生が解除されます。
- ディスクにより機能しない場合があります。



リッピング



CD内のファイルをUSBフラッシュメモリーにコピーできます。以下の手順で操作してください。

- CDとUSBフラッシュメモリーをセットした後、リッピングボタンを押します。
- カーソルボタン(▶)を押した後、カーソルボタン(▲/▼)で、コピーしたいファイルを選びます。
 - トラックにチェックマーク(✓)が付き、SUMMARYに選んだファイル数とトータル時間が加算されています。
 - 「Select all」を選んで決定ボタンを押すと全ファイルを選択、「Select none」を選んで決定ボタンを押すと選択を解除します。
 - 途中でリッピングを中止するときは、「Exit」を選んで決定ボタンを押します。
- カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)でカーソルを「Start」を選び、決定ボタンを押すとリッピング開始
 - リッピングが始まると、進捗状況を示す画面が表示されます。
 - リッピング中に断片的に再生音が流れる場合があります。
 - リッピングが完了すると、最初の画面に戻ります。通常の再生画面やファイルリスト画面に戻るには、リッピングボタンを押します。

Options		Track	
Speed	Normal	Track01	04:38
Bitrate	128Kbps	Track02	02:16
Create ID3	Yes	Track03	05:02
Device	USB	Track04	05:02
SUMMARY		Track05	05:02
Selected Track	0	Track06	05:02
Selected Time	00:00	Track07	05:02
Start	Exit	Select all	Select none

Options		Track	
Speed	Normal	Track01	04:38
Bitrate	128Kbps	✓Track02	02:16
Create ID3	Yes	Track03	05:02
Device	USB	✓Track04	03:50
SUMMARY		Track05	04:27
Selected Track	3	✓Track06	05:48
Selected Time	11:42	Track07	03:43
Start	Exit	Select all	Select none

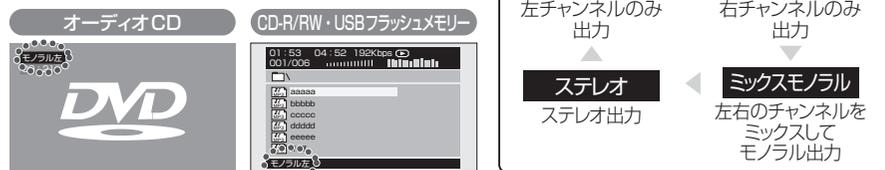
Options		Track	
Ripping	Selected Track		
Track Progress	Track02	50%	
Total Progress	Track04	0%	
	Track06	0%	
[キャンセル]			
SUMMARY			
Now Ripping Track	01/03		

- ご注意**
- 他者の著作権などを侵害する行為は絶対に行わないでください。
 - リッピングは等倍速です。
 - 再生しながらデータを取り込みます。再生時に音飛びすることがありますが、リッピングされたデータに問題はありません。

音声切換



再生中に音声切換ボタンを押すと、出力する音声を切り換えることができます。



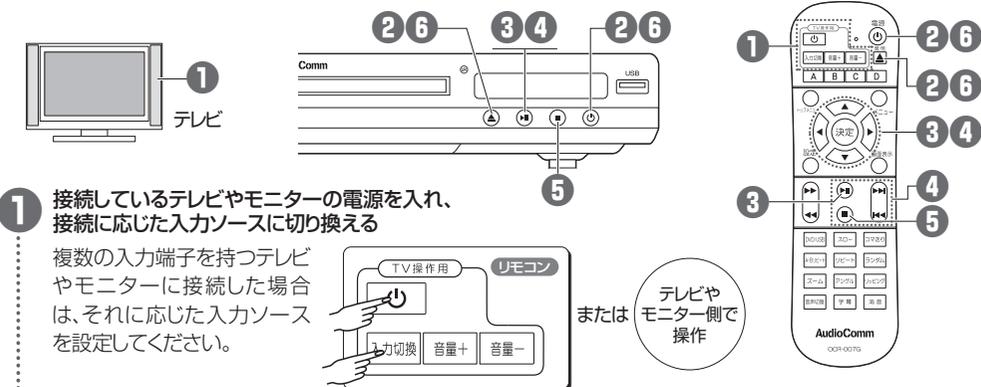
画像再生時の基本操作

CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーに記録された画像ファイルを再生できます。

- 再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP.7~P.9をご確認ください。
※対応する形式であっても、すべてのファイルの動作を保証するものではありません。
- 規格以外の特殊なディスクは、再生できませんのでご注意ください。
- P.5~6、P.15~16を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続(家庭用コンセントへの接続を含む)を正しく行なってから以下の操作をしてください。

リモコンの学習機能について

本機に付属するリモコンで、テレビの電源の入/切、入力切換、音量の調節などをする場合は、あらかじめ各機能をそれぞれのボタンに記憶させる必要があります。P.14を参照し、設定してからお使いください。



- 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力ソースに切り換える
複数の入力端子を持つテレビやモニターに接続した場合は、それに応じた入力ソースを設定してください。

2 本機にメディアをセットする

CD-R/RWの場合

電源ボタンを押して電源を入れる
電源が入るとディスクの読み込みが始まり、本機のディスプレイに「LORd」と表示されます。その後、ディスクが入っていないときは「no Cd」と表示されます。

ディスクトレイ開/閉ボタンを押してディスクトレイを開け、CDをセットする
セットしたらもう一度ディスクトレイ開/閉ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。

レーザー面を上にしてセット

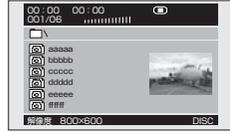
USBフラッシュメモリーの場合

電源が切れている状態で、前面のUSBフラッシュメモリー端子にUSBフラッシュメモリーを差し込む

電源ボタンを押して電源を入れる
●CDなどのディスクが入っていないときは、テレビ(モニター)の画面に「ディスクを入れて下さい」と表示されますが、そのまましばらくすると、「切換中」の表示に続いてUSBフラッシュメモリーの読み込みが始まります。
●リモコンのDVD / USBボタンでも、再生したいメディアを切り換えることができます。

画像再生時の基本操作(つづき)

本機のディスプレイに「LOAD」と表示され、読み込みが終わるとリスト画面が表示されます。



3 カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)で、再生したいファイルを選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押す=再生開始

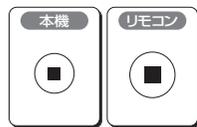


- 本機ではフォルダー内に記録されている画像をスライドショー形式で再生します。
- フォルダーの選択のしかたは、P.13をご参照ください。
- 画像ファイルはJPGまたはjpegです。
- 再生間隔は約5~10秒です。再生間隔を変更することはできません。
- 画像ファイルのデータ量が大きい場合は、読み込めず表示が遅くなる場合があります。
- フォルダーやファイルの表示例や操作方法は、P.13を参照してください。

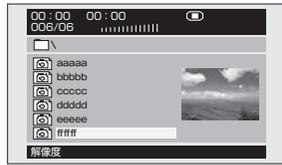
4 再生時の様々な表示切換

	次の画像へ		表示中の画像を上下反転
	前の画像へ		表示中の画像を左右反転
	スライドショーを一時停止(もう一度押すと再開)		表示中の画像を反時計回りに90°回転
	スライドショーを停止(ファイルリストを表示)		表示中の画像を時計回りに90°回転

5 再生を停止するには



停止ボタンを押す
停止ボタンを押すと、ファイルリスト表示画面に戻ります。
※トップメニューボタンを押した場合も、ファイルリスト表示画面に戻ります。



6 終了するとき

CDの場合

本機 リモコン ディスクトレイ開/閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを取り出す
取り出したら、もう一度ディスクトレイ開/閉ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。

本機 リモコン 電源ボタンを押して電源を切る

USBフラッシュメモリーの場合

本機 リモコン 電源ボタンを押して電源を切った後、USBフラッシュメモリーを抜く

ヒントとご注意

- 画像が完全に表示されるまで、ボタン操作は無効になります。
- ディスクに汚れやキズがあると、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 本機での再生に適していないメディアを挿入した場合は再生されません。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
- 長期間使わないときは、電源を切った後、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。

ヒント 音楽を再生しながら、画像を見る

ディスク内の画像と音楽を同時に再生できます。

1 音楽ファイルを再生する

P.13、P.23~25を参照して、聴きたい曲を選んで再生します。



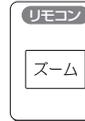
2 画像ファイルを再生する

ファイルリスト内の画像ファイルをカーソルボタン(▲/▼/◀/▶)で選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押すと、スライドショー再生がはじまります。



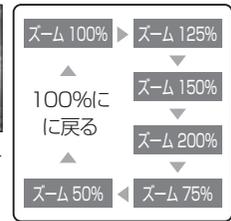
- 別のフォルダーにある画像ファイルを再生する場合は、停止ボタンを押したあとに、任意のフォルダー内のファイルを選んで再生してください。
- 画像ファイルの再生を開始すると、ボタン操作は画像に対する操作となります。
- 画像ファイルのスライドショー再生中は音楽ファイル进行操作することはできません。停止ボタンを1回押してファイルリスト表示にすると、音楽ファイルの選択や再生ができます。
- 音楽・画像のそれぞれにリピートモードを設定できます。

ズーム

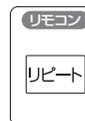


再生中または一時停止中にズームボタンを押すと、画像を拡大したり、縮小したりすることができます。

- ズームボタンによる映像の拡大や縮小は常に画面の中心に対して行なわれます。
- 拡大表示中にカーソルボタン(▲/▼/◀/▶)を押すと、表示する部分を移動させることができます。
- 読み込み中は機能しない場合があります。



リピート



再生中または停止中にリピートボタンを押すと、リピートモードの設定ができます。リピートボタンを押すたびに、モードが変わります。



シングル再生 ▶ シングルリピート ▶ フォルダールピート ▶ フォルダール再生

選択した画像を1回だけ再生 ▶ 選択した画像を繰り返し再生 ▶ フォルダール内の全画像を繰り返し再生 ▶ フォルダール内の全画像を1回だけ再生

■ セットアップメニューの概要

セットアップメニューの操作はすべてリモコンで行ないます。

本機はお買上げのままで使用できますが、必要に応じて映像・音声の出力方式や再生に関する様々なオプションの設定ができます。

- ご注意**
- ディスクを装着しない状態で行なってください。セットした状態では、一部の項目の設定ができません。
 - 再生中にセットアップメニューの設定を行った場合、再生画面の上にセットアップメニューの画面が表示され、再生はそのまま続きます。この場合、再生・停止などの操作はできません。
 - ディスクによって記録されている内容が異なります。項目によっては設定できない場合があります。

設定一覧

【基本設定】	掲載ページ	概要	設定可能項目
画面サイズ	P.32	画面の表示モードを設定します。	・4:3/PS ・4:3/LB ・16:9ワイド
アングルマーク	P.33	アングルマーク表示のオン/オフを設定します。	・オン ・オフ
画面表示言語	P.33	セットアップメニューの表示言語を設定します。	・英語 ・日本語
スクリーンセーバー	P.34	スクリーンセーバーのオン/オフを設定します。	・オン ・オフ
ラストメモリー	P.34	ラストメモリーのオン/オフを設定します。	・オン ・オフ

【音声設定】	掲載ページ	概要	設定可能項目
スピーカー設定	P.35	ダウンミックスのしかたを設定します。	・LT/RT ・ステレオ

【デジタル】	掲載ページ	概要	設定可能項目
デュアルモノ	P.35	音声の出力方法を設定します。	・ステレオ ・モノラル左 ・モノラル右 ・ミックスモノラル
DRC	P.36	ダイナミックレンジを設定します。	9段階調節

【映像設定】	掲載ページ	概要	設定可能項目	
HDMI解像度 ※1	P.36	映像の細かさを設定します。	・自動 ・480i ・480p ・720p ・1080i ・1080p	
画質設定 ※2	シャープネス	P.37	映像のシャープネス(輪郭の明確さ)を調節します。	・高 ・中 ・低
	ブライトネス	P.37	映像の明るさを調節します。	-20~20の間で調節可能
	コントラスト	P.38	映像のコントラストを調節します。	-16~16の間で調節可能
設定HDMI ※1	HDMI	P.38	HDMI接続のオン/オフを設定します。	・オン ・オフ
	オーディオソース	P.39	HDMIのオーディオ出力方式を選べます。	・自動 ・PCM

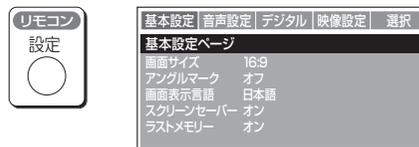
【選択】	掲載ページ	概要	設定可能項目
テレビタイプ	P.39	テレビの信号方式を設定します。	・PAL ・自動 ・NTSC
音声設定	P.40	音声言語を設定します。	・英語 ・日本語
字幕言語	P.40	字幕の表示言語を設定します。	・英語 ・日本語
メニュー言語	P.41	メニューの表示言語を設定します。	・英語 ・日本語
初期設定	P.41	本機の設定内容を破棄し、工場出荷時の状態に戻します。	

※1 DVD-718Hのみ ※2 「画質設定」として表示されるのはDVD-718Hのみ。DVD-718は、シャープネス、ブライトネス、コントラストが単独の設定項目として表示されます。

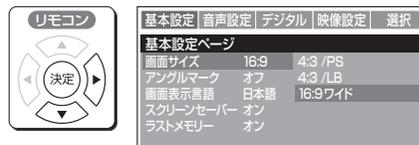
■ 画面サイズ

画面の表示モードを設定します。

- 1** 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。

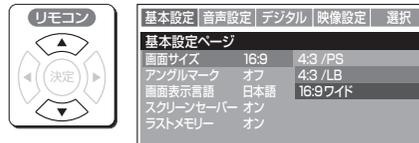


- 2** カーソルボタン(▼)を押して「画面サイズ」を選んだ後、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



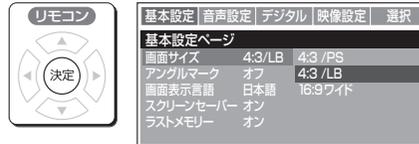
決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯(現在の設定)が緑色に変わります。

- 3** カーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



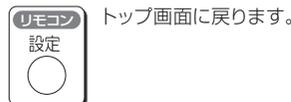
カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます。それまでの設定は茶色の帯で表示されます。

- 4** 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

- 5** 設定ボタンを押して終了する



4:3/PS(パンスキャン)

標準サイズのテレビ

16:9の映像は左右が切れた映像で表示します(パンスキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します)。



4:3/LB(レターボックス)

標準サイズのテレビ

16:9の映像は上下に帯のある映像で表示します。



16:9ワイド

16:9のワイドテレビ

ディスプレイ全体に映像を映します。



※通常のDVDの画像比率は16:9です。
※地デジ対応テレビ画像の比率は16:9です。

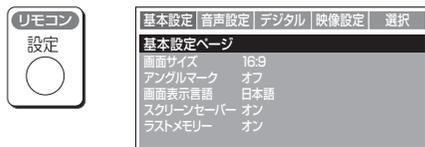
ご注意 ●VRモードでディスク再生時は、画面サイズが16:9で固定され、変更はできません。

■ ■ ■ アングルマーク

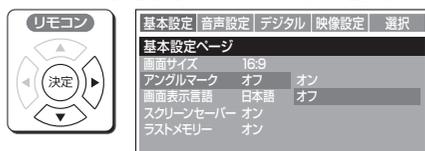
アングルマーク表示のオン/オフを設定します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

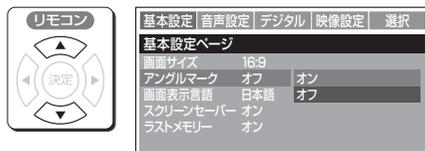


2 カーソルボタン(▼)を押して「アングルマーク」を選んだ後、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



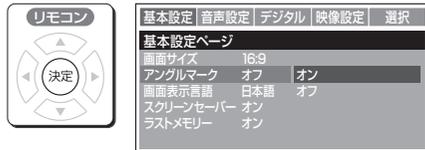
決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯(現在の設定)が緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます。それまでの設定は茶色の帯で表示されます。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

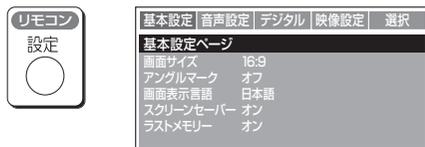


■ ■ ■ 画面表示言語

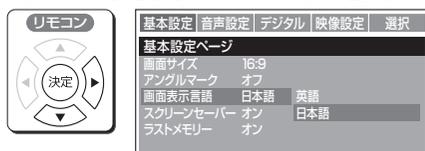
セットアップメニューの表示言語を選択できます。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

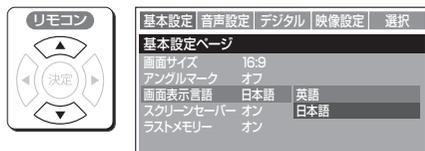


2 カーソルボタン(▼)を押して「画面表示言語」を選んだ後、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯(現在の設定)が緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます。それまでの設定は茶色の帯で表示されます。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

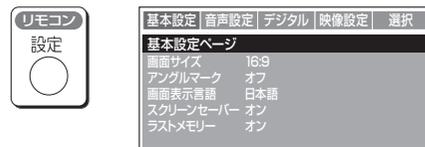


■ ■ ■ スクリーンセーバー

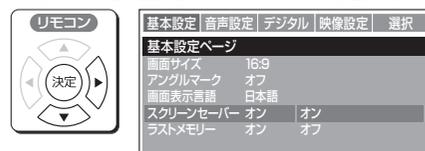
スクリーンセーバーのオン/オフを設定します。テレビ(モニター)画面の焼き付きを防ぐため、通常はオンでご使用ください。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▼)を押して「スクリーンセーバー」を選んだ後、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



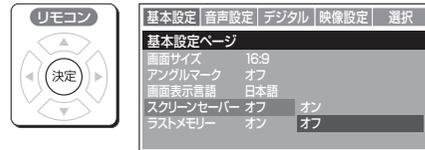
決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯(現在の設定)が緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます。それまでの設定は茶色の帯で表示されます。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

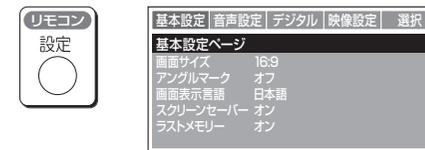


■ ■ ■ ラストメモリー

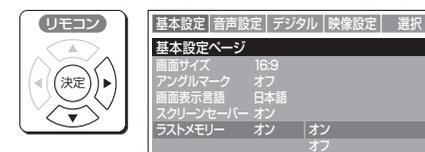
ラストメモリーのオン/オフを設定します。ラストメモリーをオンにしておく、前回再生を停止した位置を記憶し、再度再生するとき、その続きから再生できます(ただし、ディスクによって停止ボタンを2回続けて押した場合は無効になることがあります)。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

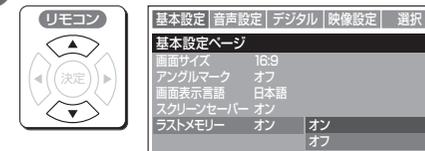


2 カーソルボタン(▼)を押して「ラストメモリー」を選んだ後、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



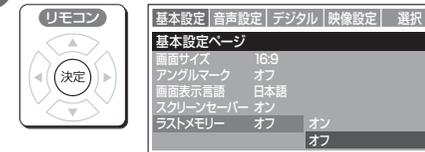
決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯(現在の設定)が緑色に変わります。

3 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます。それまでの設定は茶色の帯で表示されます。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

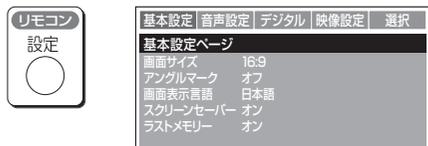


スピーカー設定

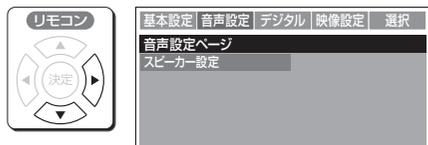
ダウンミックスのしかたを設定します。ダウンミックスとは、サラウンドの音源を2チャンネルステレオで聴く場合など、音声オリジナルのフォーマットで再生できないときに、制作者の意図した再生でオリジナルより少ないチャンネル数で行なうことです。

1 設定ボタンを押す

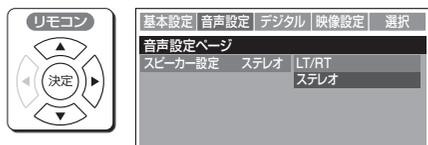
設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▶)を押して「音声設定」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「スピーカー設定」を選ぶ



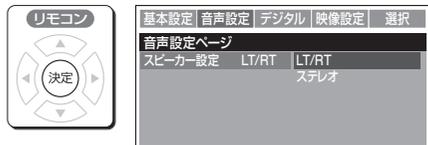
3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を2回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を2回押しと、現在の設定を示す茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

項目	内容
LT/RT	左チャンネル/右チャンネルのみをモノラル再生
ステレオ	左右のチャンネルでステレオ再生

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

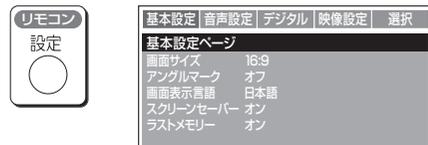


デュアルモノ

音声の出力方法を設定します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

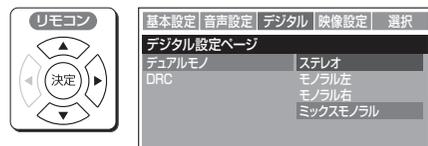


2 カーソルボタン(▶)を押して「デジタル」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「デュアルモノ」を選ぶ



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

項目	内容
ステレオ	ステレオ出力
モノラル左	L 音声をモノラル出力
モノラル右	R 音声をモノラル出力
ミックスモノラル	L/R の音声をミックスしてモノラル出力

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

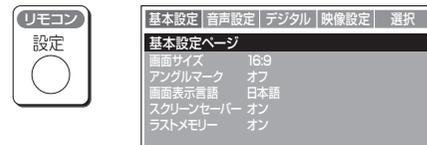


DRC

ダイナミックレンジを設定します。ダイナミックレンジとは、ひずみや雑音などなしに再生できる範囲のことで、FULLに近いほど広い音域の再生ができます。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▶)を押して「デジタル」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「DRC」を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



調節用の目盛りが表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)でダイナミックレンジの目盛りを調節する



決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色のスライダー表示が黄色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすとスライダーが動きます(FULLからOFFまで9段階で調節できます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



ヒント

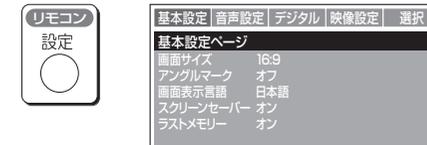
ステップ③の後に設定ボタンを押して操作を中止した場合、変更後の設定が適用されます。

HDMI 解像度 DVD-718H のみ

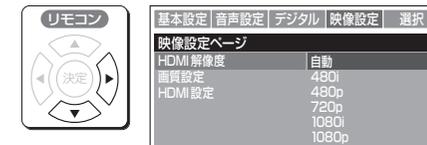
映像の細かさを設定します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

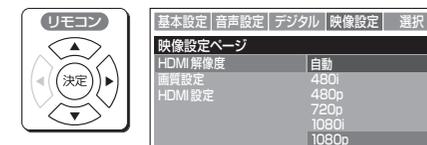


2 カーソルボタン(▶)を押して「映像設定」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「HDMI解像度」を選ぶ



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

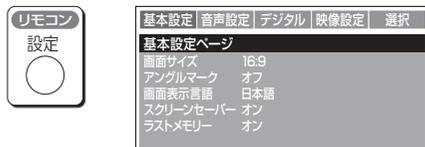


シャープネス

映像のシャープネス(輪郭の明確さ)を調節します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

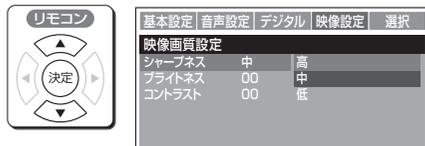


2 カーソルボタン(▶)を押して「映像設定」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「画質設定」を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選び、決定ボタンを押す



カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。決定ボタンを押すと新しい設定が茶色の帯に変わり、確定します。

4 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



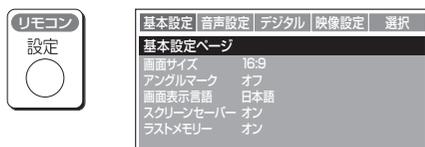
DVD-718では、「映像設定」から直接「シャープネス」を選ぶことができます。

ブライトネス

映像の明るさを調節します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▶)を押して「映像設定」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「画質設定」を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す。さらにカーソルボタン(▼)で「ブライトネス」を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



3 カーソルボタン(◀/▶)を押して明るさを調節し、決定ボタンを押す



-20~20の間で調節できます。



新しい設定が確定します。

4 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



DVD-718では、「映像設定」から直接「ブライトネス」を選ぶことができます。

ご注意

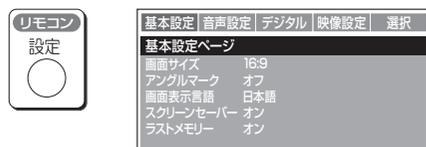
- ステップ③の操作中は、カーソルボタン(◀)を押してもひとつ前の画面には戻りません。
- ステップ④で数字を変更した後に、設定ボタンを押して操作を中止した場合、変更後の設定が適用されます。

コントラスト

映像のコントラストを調節します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▶)を押して「映像設定」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「画質設定」を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す。さらにカーソルボタン(▼)で「コントラスト」を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



3 カーソルボタン(◀/▶)を押して明るさを調節し、決定ボタンを押す



-16~16の間で調節できます。



新しい設定が確定します。

4 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



DVD-718では、「映像設定」から直接「コントラスト」を選ぶことができます。

ご注意

- ステップ③の操作中は、カーソルボタン(◀)を押してもひとつ前の画面には戻りません。
- ステップ④で数字を変更した後に、設定ボタンを押して操作を中止した場合、変更後の設定が適用されます。

ヒント ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。また操作を中止してトップ画面に戻るには設定ボタンを押します。 **38**

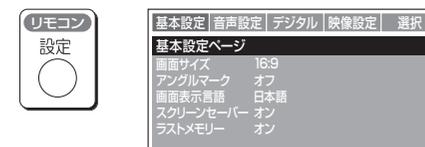
HDMI

DVD-718H のみ

HDMI接続のオン/オフを設定します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▶)を押して「映像設定」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「HDMI設定」を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す

新しい設定が確定します。



5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



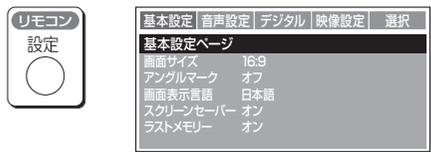
ご注意

- この設定は「オフ」にしないでください。HDMIにて接続中に「オフ」にするとテレビの表示が消えます。

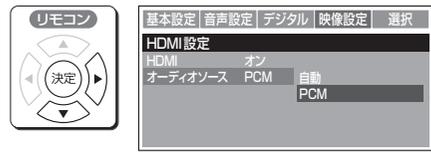
オーディオソース DVD-718H のみ

HDMIのオーディオ出力方式を選べます。

1 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▶)を押して「映像設定」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「HDMI設定」を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す。さらにカーソルボタン(▼)で「オーディオソース」を選ぶ



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する
トップ画面に戻ります。

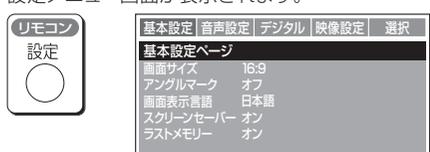


ご注意
●「PCM」に設定したときに音声が出力されない場合は、「自動」に設定してください。

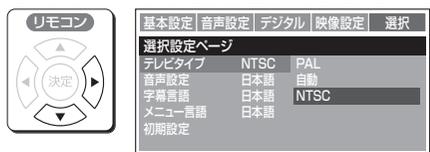
テレビタイプ

テレビの信号方式を設定します。
●ディスクが入っているときは選択できません。

1 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▶)を押して「選択」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「テレビタイプ」を選ぶ



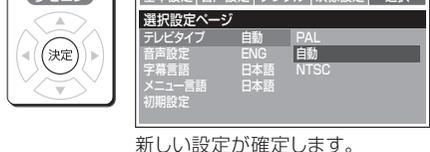
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する
トップ画面に戻ります。

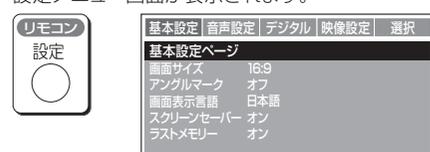


ご注意
●日本のテレビ方式はNTSCです。したがって、通常は設定を変更する必要はありません。
●他の方式に変更すると、画面が乱れたり、再生できなくなるおそれがありますのでご注意ください。

音声設定

音声言語を設定します。
●ディスクが入っているときは選択できません。

1 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。

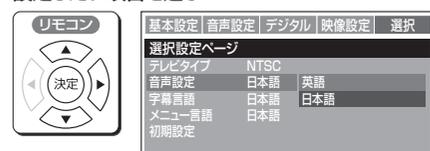


2 カーソルボタン(▶)を押して「選択」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「音声設定」を選ぶ



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する
トップ画面に戻ります。



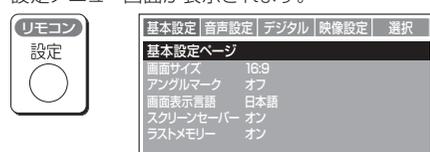
ご注意
●一部のディスクでは、音声言語の設定が利用できません。DVDに収録されているメニュー画面で設定してください。
●再生するディスクが対応していない言語は、設定しても表示されません。

ヒント ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。また操作を中止してトップ画面に戻るには設定ボタンを押します。

字幕言語

字幕の表示言語を設定します。
●ディスクが入っているときは選択できません。

1 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。

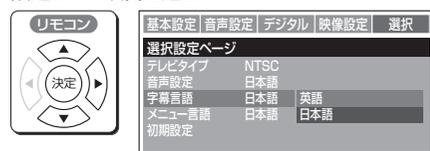


2 カーソルボタン(▶)を押して「選択」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「字幕言語」を選ぶ



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する
トップ画面に戻ります。



ご注意
●一部のディスクでは、字幕言語の設定が利用できません。DVDに収録されているメニュー画面で設定してください。
●再生するディスクが対応していない言語は、設定しても表示されません。

設定

設定

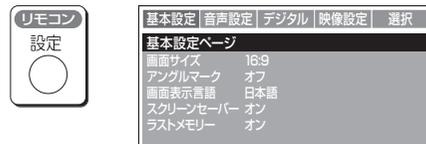
メニュー言語

メニューの表示言語を設定します。

●ディスクが入っているときは選択できません。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

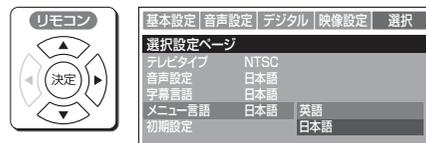


2 カーソルボタン(▶)を押して「選択」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「メニュー言語」を選ぶ



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押すと、茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



ご注意

再生するディスクが対応していない場合は、設定しても表示されません。

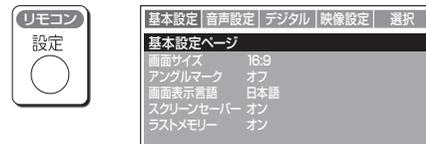
初期設定

本機を工場出荷時の状態に戻します。

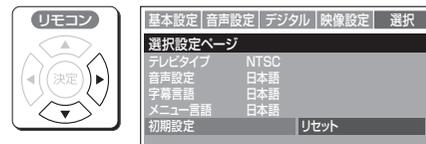
●ディスクが入っているときは選択できません。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

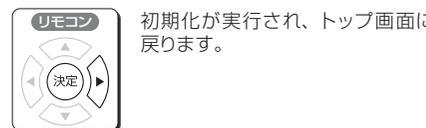


2 カーソルボタン(▶)を押して「選択」を選んだ後、カーソルボタン(▼)で「初期設定」を選ぶ



「リセット」の項目が茶色の帯で表示されます。

3 決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を1回押し、「リセット」の色帯を緑色に変え、決定ボタンを押す



初期化が実行され、トップ画面に戻ります。

ご注意

初期化を行うと、それまでにお客様が設定した内容がすべて失われますので、十分ご注意ください。

故障かなと思ったら

電源に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
電源が入らない	・電源プラグがはずれていませんか。または断線していませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンの乾電池が正しく入っていますか。	→差し込み具合や電源コードを再確認する。 →新しい乾電池と交換する。 →乾電池の⊕⊖の向きを確認する。

再生画質・音質に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
画像が出ない	・接続機器の電源は入っていますか。 ・配線は正しく接続されていますか。 また、断線したりはしていませんか。 本機とテレビは直接接続されていますか。 ・画像の出ないディスクが入っていませんか。 ・テレビの入力切替は正しいですか。	→接続機器の電源を確認する。 →接続を再確認する。 →再生できるディスク以外のものが入っていないか確認する。 →正しく切り換える。
画面が暗い	・明るさは正しく調整されていますか。 ・コントラストは正しく調整されていますか。 ・温度が5℃以下になっていませんか。 ・他のAV機器との接続を間違えていませんか。	→正しく調整する。 →正しく調整する。 →正常温度になるまで使わない。 →接続を確認する。 (AV機器の取扱説明書を参考にする)
映像がゆれる	・電源を1カ所から集中して接続していませんか。	→各機器の電源接続を分散する。
映像にノイズやゆがみ・乱れが出る	・ディスクが汚れていたり、傷がありませんか。 ・携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用していませんか。	→ディスクを確認する。 →本機から離して使用する。
画面の縦方向が縮小している	・セットアップメニューの画面サイズの設定が4:3になっていませんか。	→16:9ワイドに設定を変更する(P.32参照)。
再生中に、不自然なブロックノイズが見えるときがある	以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 ・元の画像にブロックノイズがすでにある状態での録画の場合 ・画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 ・ディスク上の物理エラーによる場合	
字幕が表示されない	・字幕の入ったディスクのみ表示します。 ・非対応の言語ではありませんか(非対応の字幕言語は表示されません)。	→字幕が入っているかどうか確認する。
雑音が聞こえる	・近くで携帯電話を使用していませんか。	→携帯電話を本機から離して使用する。

操作に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
DVDやCDの再生ができない	・ディスクフォーマットが非対応、または本機非対応のリージョンコードではないですか。 ・ディスクに汚れやキズが付いていませんか。	→ディスクを確認する。 →ディスクをクリーニングする(P.45参照)。
USB フラッシュメモリーを再生できない	・DVDやCDの再生が選択されていませんか。 ・USBフラッシュメモリーが壊れていませんか。	→DVD / USB切替ボタンでメディアを切り換える。 →別のUSBフラッシュメモリーで試してみる。

操作に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
市販DVDを再生時、音声切替ボタンを押しているのに、音声日本語に切り換わらない	<ul style="list-style-type: none"> DVDビデオに日本語の音声が入っていますか。 音声切替ボタンでの操作はディスクによって制限されている場合があります。 	<p>→ディスクを確認する。</p> <p>→DVD側のメニューで音声を切り換える。</p>
各ボタン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 特定の操作を禁止しているディスクもあります。 落雷や静電気の影響により、本機が正常に動作しないことがあります。 	<p>—</p> <p>→本機の電源を一度切/入する。または電源を切って、リモコンの乾電池を取り外し、もう一度入れる。</p>
リモコン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池は入っていますか。向きは正しいですか。 乾電池が消耗していませんか。 本機の信号受信部に向けて操作していますか。 信号受信部に強い光が当たっていませんか。 リモコンと信号受信部が遠すぎませんか。 リモコンと信号受信部の間に障害物がありますか。 	<p>→乾電池を入れる。⊕⊖の向きを確認する。</p> <p>→乾電池を新しいものと交換する。</p> <p>→信号受信部に向けて操作する。</p> <p>→光が当たらないよう向きを変える。</p> <p>→約4m以内、上下左右30°以内のところで操作する。</p> <p>→障害物を取り除く。</p>
音が出ない (接続機器の音が出ない)	<ul style="list-style-type: none"> 「消音」したままになっていませんか。 接続を間違えていませんか。 接続先の機器の音量が最小になっていませんか。 接続先の機器の電源は入っていますか。 接続先の機器にヘッドホンが差し込まれていませんか。 オーディオ出力機器の設定が間違っていないですか。 	<p>→消音を解除する。</p> <p>→接続を再確認する。</p> <p>→音量レベルを上げる。</p> <p>→電源を確認して入れる (ONにする)。</p> <p>→ヘッドホンを抜く。</p> <p>→設定を合わせる。</p>
再生できないまたはすぐに停止する	<ul style="list-style-type: none"> 寒い所から急に暖かい所に持ち込むと結露により再生できない場合があります。 ディスクが汚れていませんか? ディスクが正しくセットされていますか? 2層ディスクが1層から2層に切り換わったような感じではありませんか? 原因がはっきりしない場合 	<p>→数時間放置する。</p> <p>→ディスクをクリーニングする (P.45参照)。</p> <p>→ディスクを正しくセットする。</p> <p>→映像が一瞬止まる場合がありますが、故障ではありません。</p> <p>→1. 停止ボタンを押してから再生ボタンを押してみる。</p> <p>2. 本機の電源を切り、電源プラグを家庭用コンセントから抜き、再度差し込んでから再生してみる。</p>
設定を買ったときの状態に戻したい	—	→セットアップメニューの「初期設定」を実行する (P.41)。

用語	説明
CPRM	コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。詳しくはP.7の「CPRMとは?」の項を参照してください。
JPEG	Joint Photographic Expert Groupの略で、ジューペグと読みます。静止画像などを圧縮、伸長させる機能を持ったアルゴリズムです。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの画像/音声はこの方法で記録されています。
MP3	音楽・音声のためのデジタル圧縮ファイルフォーマットのひとつ。データを極端な音質の劣化を伴わずに圧縮でき、パソコンをはじめ、CDプレーヤー・DVDプレーヤーでの再生も容易なことから現在の主流フォーマットのひとつになっています。
PCM	Pulse Code Modulation (パルス符号変調)。音声などのアナログ信号をパルス列に変換するパルス変調のひとつ。
RCA端子・コード	中心部に金属のピンがあり、周囲に切込みのついた金属がついている、AV機器接続用の端子・コード。本機に付属しているAV接続コードはステレオ音声左 (白)、ステレオ音声右 (赤)、映像 (黄色) の各端子を、本機と外部機器、それぞれ同色の端子と接続すれば使うことができます。
VRモード	P.7の「ビデオモード、VRモードとは?」の項を参照してください。
アングル	同じ映像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。ディスク側にこのデータが含まれていないとこの機能は使えません。
スクリーンセーバー	テレビやモニターの焼き付けを防ぐために、一定時間静止画像が続くと、自動的に簡単な動画 (またはアニメーションなど) が起動する機能です。
セットアップメニュー	本機でディスクを再生して楽しむための、映像・音声に関する出力設定やセットアップメニューの表示言語などを設定します。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画などが入っているときなど、各映画の題名 (タイトル) などをいいます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
ドルビーデジタル (5.1ch)	ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック (ファイル)	音楽用CDの各曲やJPEGデータの各画像をトラック (ファイル) といいます。
パンスキャン	4:3のテレビと本機を接続し、ワイド (16:9) ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。
リージョンコード (再生可能地域番号)	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョンコードといいます。

■ 主な仕様

電源	本体：AC100V 50/60Hz 8W リモコン：単4形乾電池×2本
信号方式	NTSC
接続端子	RCA出力ジャック(映像/音声)、USBフラッシュメモリー端子、HDMI端子※1
使用動作環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%
外形寸法	幅225×高さ46×奥行217mm(突起物を除く)
本体質量	約950g
付属品	リモコン、動作確認用単4形乾電池(2本)、AV接続コード(RCA)、HDMIケーブル※1、保証書付取扱説明書

ビデオ信号方式	NTSC
ビデオフォーマット	MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4
オーディオフォーマット	MPG 1、LAYER 1、LAYER 2、LAYER 3
アナログ音声出力電圧	1～2V

※1はDVD-718Hのみ
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが製品と一部異なる場合があります。

■ お手入れのしかた

 **お手入れの際には必ず電源プラグを家庭用コンセントから取り外してください。**
感電の原因となることがあります。

キャビネットの清掃

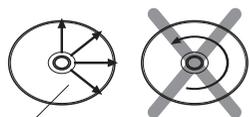
- キャビネットやパネル操作面が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときには、水を布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。



シンナー、ベンジン、
アルコールなどは
使用しない

コンパクトディスクのお手入れ

- 本機にセットする前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。必ず内側から外側に放射状にふいてください。
- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電気防止剤は絶対に使用しないでください。



必ず内側から外側へ拭く

USBフラッシュメモリーのお手入れ・保管について

- USBフラッシュメモリーの接続部に指紋やホコリなどの汚れが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このようなときは、柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品、及びスプレー静電気防止剤は絶対に使用しないでください。
- 以下のような場所での保管は避け、キャップカバーなどが付属している場合は必ずカバーを付けて保管してください。
 - ・高温の場所 ・直射日光の当たる場所 ・極端に温度の低い場所
 - ・浴室や加湿器の近くなど湿度の高い場所 ・ホコリや砂塵など浮遊物が多い場所
- ご使用に当たっては、USBフラッシュメモリーに付属する取扱説明書や注意書きも合わせてご確認ください。

■ よくあるご質問

Q 病院で使えますか？

A 本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。病院の指示に従ってください。

Q 海外でも使用できますか？

A 本機をお使いいただけるのは、日本国内のみです。

Q 海外で買ったDVDビデオを再生できますか？

A リージョンコードが「2」を含むか「ALL」で、映像方式がNTSCであれば、再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。

■ 保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。